KAWAI

PROFESSIONAL STAGE PIANO MP10

取扱説明書

このたびは、KAWAIステージピアノMP10を

お買い求めいただきまして、

誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、

末永くご愛用いただくためにも、

この取扱説明書をよくお読みいただき、

大切に保管くださいますようお願い致します。

取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（10 ページ）からお読みください。各部の名称と機能や、オーディオ出力機器への接続、電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、MP10をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には 音色一覧などの資料を収録しています。

表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、[　] で囲まれた文字は、パネル上に印刷されたボタン名や端子名を表し、[CONCERT] ボタンのように表記します。

はじめに

本製品の特徴

ステージピアノ最高クラスのタッチ感を備えた『木製鍵盤/アイボリータッチ、レットオフフィール』

電子ピアノの中で群を抜く鍵盤の長さとグランドピアノと同様のアクション（シーソー構造）を備えた木製鍵盤により、グランドピアノに近い弾き心地で演奏することができます。さらに、優れた吸湿性と象牙の風合い、色を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。
さらに、弱く弾いたときに感じられるアコースティックピアノ特有のクリック感を実現するレットオフフィールを搭載、グランドピアノがもつ細やかなタッチの感触まで余すことなく再現します。

PIANOセクション：CONCERT、POP、JAZZ - 究極のグランドピアノ音色

MP10は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノEXの音を、88個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸なピアノ音を搭載しています。その鍵盤を弾く強さによって大きく変化するピアノ音を、様々な強さで録音することにより、従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。
さらに、複数のマイクポジションで録音された膨大なサンプルは、[CONCERT]カテゴリーはクラッシック、[POP][JAZZ]カテゴリーにはポップス、ジャズなど、それぞれに応じたピアノ音に丹念に調整されており、様々なジャンルに最適なピアノ音を網羅しています。
また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きをサンプリングした「ダンパーレゾナンス」や、弾いた鍵盤の音程の関係によって発生する弦の共鳴を再現した「ストリングレゾナンス」により、グランドピアノの音の響きをディテールまで再現、「ダンパーノイズ」「フォールバックノイズ」パラメーターによりペダルやアクションの動きによって発生する様々な音までをも調整できます。

E.PIANOセクション：２エフェクト+アンプシミュレーターを搭載し、ビンテージ・エレピ音色を一新。

MP10は、それぞれ独特のキャラクターを持った数々のビンテージエレピ音色を一新。
E.PIANOセクションには、それぞれの特徴がリアルに再現されたエレピサウンド、バラエティに富んだエフェクトと、６タイプのビンテージアンプとスピーカーキャビネットのサウンドバリエーションを用意しました。

SUBセクション：ピアノの表現の幅を拡げるストリング、PAD音色

MP10は、アコースティックピアノやエレクトリックピアノに音を重ねたり、単独で演奏したりするための高品位のストリングス/PAD音色、その他の有用な音色を用意しています。
さらに、特徴的な機能、「Bell」と「Sweep」や、ノブに割り当て可能な典型的なADSR、レゾナンス・カットオフなどのパラメーターによって、多様性の富んだ様々なサウンドを得られます。

MIDIセクション：使いやすいマスターキーボード機能

MP10は、外部機器の操作、スタジオでの統合環境のマスターキーボードとして使用するためのMIDIセクションを備えています。アサイナブルノブを使用してコントロールチェンジを外部機器に送信したり、レコーダーのトランスポートボタンを使用して、手元からDAW（Digital Audio Workstation）をコントロールすることができます。MP10はまた、ライン入力端子と、付随したラインインフェーダーを備えており、ご愛用のハードウェア音源やシンセ、パソコンのソフトウェア音源などを接続し、手元での音量バランスのコントロールが可能です。

直感的な操作を実現する、ディスプレイとリアルタイムアサイナブルノブ

MP10のコントロールパネルは、ひと目で操作する場所がわかるように、音色に関連する機能がそれぞれグループ化して配置されています。そして、パネル中央に配置されたディスプレイを伴った4つのアサイナブルノブを使って、頻繁に操作するパラメーターは演奏中ダイレクトに調整することができます。どこにどのパラメーターがあるかなどに余計な神経を使わず、演奏のことだけに集中できます。

ステージミュージシャンの為の156セットアップ・メモリー

MP10は、選択された音色、ノブの値、フェーダーのレベル、その他調整されたパラメーターを、「SETUP（セットアップ）」として、本体のメモリーへ保存することができ、ボタンを押して瞬時に呼び出すことができます。
150を超えるセットアップメモリーは、演奏前に予めいくつもの設定を決めておきたいステージミュージシャンに最適です。

USBメモリーが利用可能。各種ロード/セーブと『USB オーディオレコーダー』

MP10は、MIDIデータをコンピューターとやりとりするための[USB to HOST]端子のほか、USBメモリーなどにデータをロード/セーブする為の[USB to DEVICE]端子を備えています。内部メモリーに保存された、カスタマイズされたサウンド群、セットアップメモリー、レコーダー（SMF形式）などのデータを、USBメモリーへ保存することができます。
また、[USB to DEVICE]端子は、MP3やWAV形式のオーディオファイルの録音・再生にも対応しており、本格的なバッキング・トラックを使って演奏したり、曲のアイデアの為のメロディやコードを気軽に録音することも可能です。もちろん、MP10で保存したMP３、WAV、SMF形式のファイルは、DAW等で活用できます。曲のアイデアをMP3形式で録音し、そのままEメールに添付してメンバーに送付、というような利用も可能です。

安全上のご注意

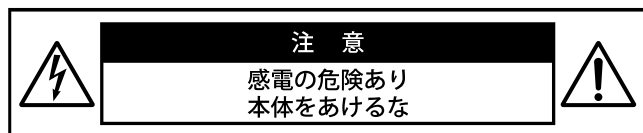
ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は下記のようになっています。

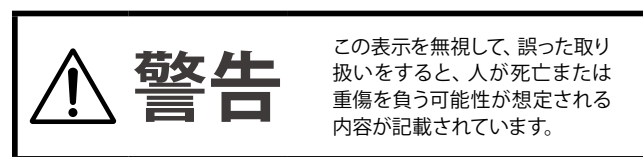
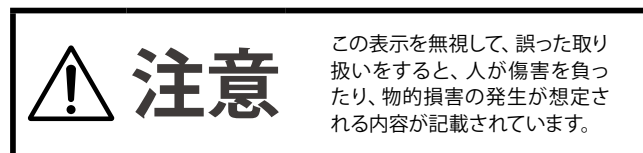
本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意

感電の危険あり
本体をあけるな

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△ 記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠ 記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

● 記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠ 警告

100V 以外禁止

電源は必ず AC100V を使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火のおそれがあります。

専用コード使用

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

コードを傷つけない

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

故障・感電・ショートのおそれがあります。

水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける , かける , こぼす）等しない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

濡れ手禁止

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

本体の上にローソクなど、火気のものを置かない

火災のおそれがあります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損のおそれがあります。

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になるおそれがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損のおそれがあります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

長時間使用しないときは、必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

故障の原因になります。

熱がこもらないような場所に置く

正常な通気が確保できるところに設置してください。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

設置作業や移動作業は必ず 2 人で行い、取り扱いに十分注 意する

重量物のため、本機を移動するときは水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れるおそれがあり、故障やけがの原因になります。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

様々な機能 33

MIDI セクション 37

USB-MIDI について 39

エディットメニュー概要 41

セクション・パラメーター 43

MIDI パラメーター 52

ストアボタン 54

各部の機能と名称

1 フロントパネル

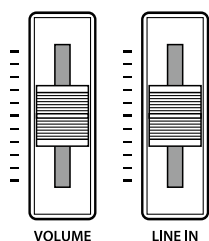
a ホイール

[PITCH BEND] ホイール

このホイールを上下に動かすと、音程が上下に変わります。

[MODULATION] ホイール

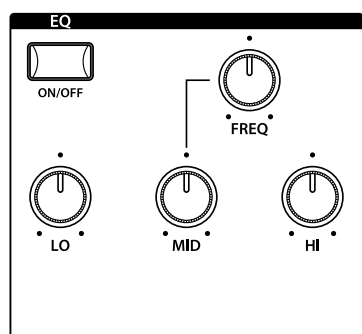
ビブラートのかかり具合を調整することができます。ホイールを上へ動かすとビブラートが深くかかります。
ホイールポジションが0でないとき、LEDインジケーターが点灯します。

b [VOLUME] マスター・フェーダー

[VOLUME] マスター・フェーダー

全体のボリュームを調整します。ノーマル出力、ヘッドホン出力に効きます。

[LINE IN] フェーダー

ライン入力の音量を調整します。

c [EQ] セクション

[ON/OFF] ボタン

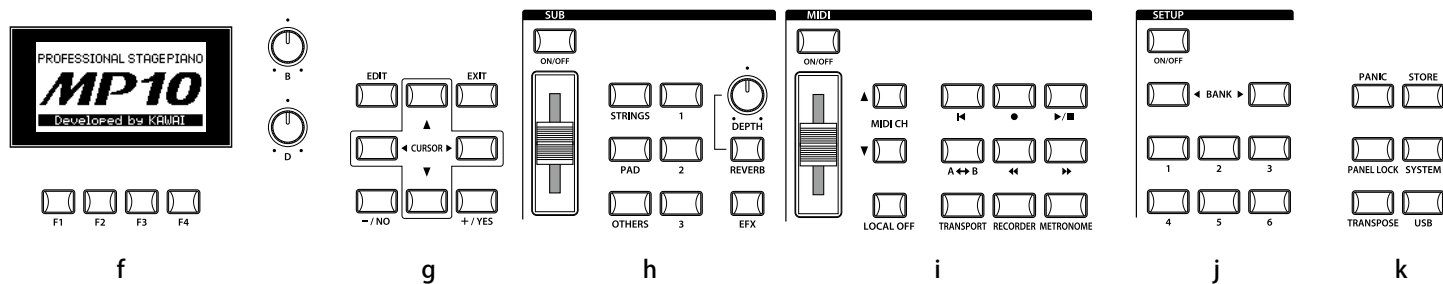
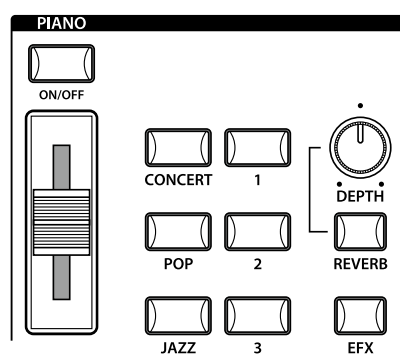
EQをON/OFFします。このボタンを長押しすることにより、現在のイコライザーの設定を確認することができます。

※MP10のイコライザーは、PIANO、E.PIANO、SUBセクションに共通に効き、ライン入力やUSBオーディオに対しては効きません。

[LO][MID][HI] ノブ

低音域、中音域、高音域の音量を調整します。

[FREQ] ノブ

中音域の周波数帯域を調整します。

d [PIANO]セクション

[ON/OFF] ボタン

PIANOセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとピアノセクションは発音しません。

ボリューム・フェーダー

PIANOセクションの音量を調整します。

[CONCERT][POP][JAZZ] ボタン

PIANO音色を３種類のタイプから選びます。

[1][2][3] ボタン

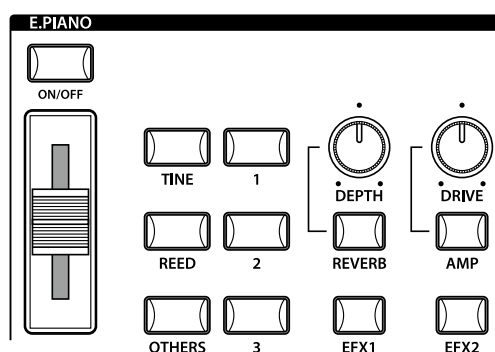
選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

[REVERB][EFX] ボタン

PIANOセクションのリバーブ（残響効果）やエフェクトをON/OFFします。
これらのボタンを長押しすると、[EDIT]メニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

[DEPTH] ノブ

リバーブ（残響）のかかり具合を調整します。

e [E.PIANO]セクション

[ON/OFF] ボタン

E.PIANOセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとE.PIANOセクションは発音しません。

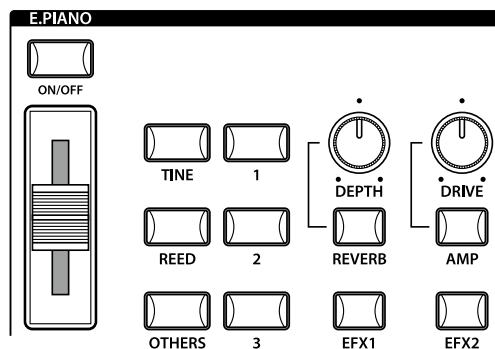
ボリューム・フェーダー

E.PIANOセクションの音量を調整します。

[TINE][REED][OTHERS] ボタン

E.PIANO音色を３種類のタイプから選びます。

[1][2][3] ボタン

選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

[REVERB][EFX1][EFX2][AMP] ボタン

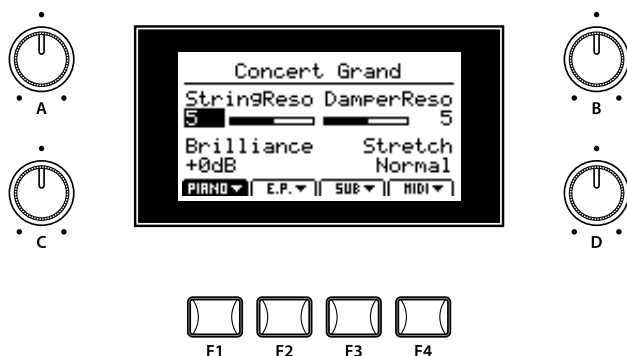
E.PIANOセクションのリバーブ（残響効果）、エフェクト1/2、アンプ・シミュレーターをON/OFFします。
これらのボタンを長押しすると、EDITメニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

[DEPTH] ノブ

リバーブ（残響）のかかり具合を調整します。

[DRIVE] ノブ

アンプ・シミュレーターの歪みのかかり具合を調整します。

f ディスプレイ部

ディスプレイ

通常は[PIANO][E.PIANO][SUB][MIDI]のうち選択されたセクションの音色名やパラメーターの値を表示します。
その他様々な機能を使う場合には、それぞれの値や状態を表示します。

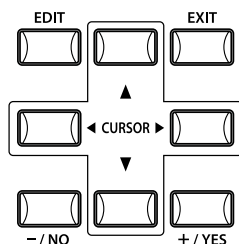
[A][B][C][D] ノブ

表示中のパラメーターの値をリアルタイムにコントロールします。

※[EDIT]メニューのノブ・アサイン設定ページでパラメーターを自由に割り当てることができ、演奏中に好みのパラメーターを操作することができます。（51 ページの「7 Knob Assign（ノブアサイン）」参照）

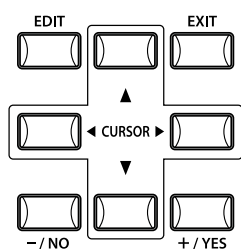
[F1][F2][F3][F4] ボタン

通常はディスプレイに表示されるセクションを選択します。
レコーダーなどのその他のモードでは、その時の機能が画面上に表示されます。

g エディット部

[EDIT] ボタン

EDITモードへ入ります。EDITメニューが表示されているときは、選択されたそれぞれのパラメーターEDITのページへ移行します。

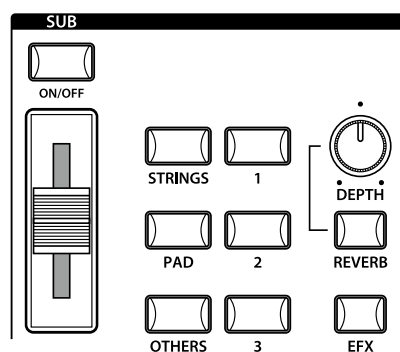
[+/YES][-/NO] ボタン

カーソルで選択した項目の値を設定します。動作確認が必要な画面では、実行するか否かを決定します。

[CURSOR] ボタン

画面中のカーソルを移動させたり、EDITモードのページをスクロールさせます。

[EXIT] ボタン

EDITモードから抜けたり、前のページへ戻ります。

h [SUB]セクション

[ON/OFF] ボタン

SUBセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとSUBセクションは発音しません。

ボリューム・フェーダー

SUBセクションの音量を調整します。

[STRINGS][PAD][OTHERS] ボタン

SUB音色を３種類のタイプから選びます。

[1][2][3] ボタン

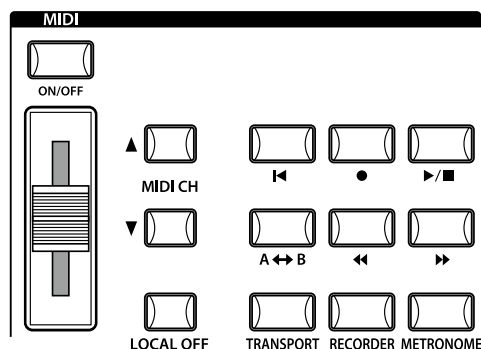
選択したタイプのバリエーションを3種類から選びます。

[REVERB][EFX] ボタン

SUBセクションのリバーブ（残響効果）やエフェクトをON/OFFします。
これらのボタンを長押しすると、[EDIT]メニューのそれぞれの設定ページへショートカットできます。

[DEPTH] ノブ

リバーブ（残響）のかかり具合を調整します。

i [MIDI] セクション

[ON/OFF] ボタン

MIDIセクションをON/OFFします。このボタンを消灯させるとMIDI送信はされません。

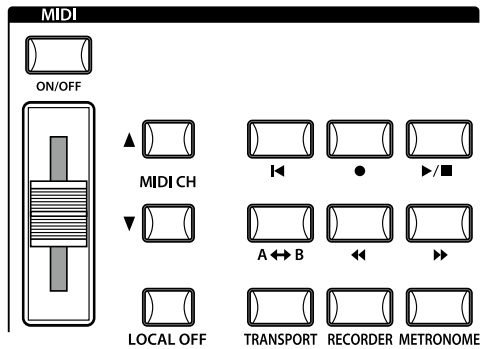
ボリューム・フェーダー

コントロールチェンジのボリューム情報（CC#07）をMIDI送信します。

[MIDI CH] ボタン

MIDI送信チャンネルを設定します。

[LOCAL OFF] ボタン

[LOCAL OFF]ボタンを点灯させると、本体の鍵盤を弾いても本体から発音せず、MIDI入力のみ発音します。

[TRANSPORT] ボタン

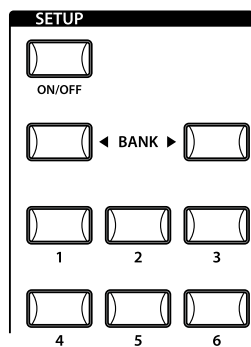
MIDIセクションのボタンをトランスポートモードにします。
トランスポートモードでは、6つのレコーダーボタンでEDITモードで割り当てたリアルタイムメッセージやMMC（MIDI Machine Control）メッセージを送信することができます。

[RECORDER] ボタン

MIDIセクションのボタンをレコーダーモードにします。
レコーダーモードでは、演奏の録音・再生ができます。レコーダーにはAUDIOレコーダーとMIDIレコーダーがあります。

[METRONOME] ボタン

メトロノーム機能をON/OFFします。メトロノーム機能をONすると、メトロノームやリズムパターンを鳴らしながら録音することができます。

j [SETUP] セクション

[ON/OFF] ボタン

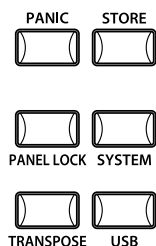
SETUPモードをON/OFFします。

[BANK] ボタン

AからZまでの26バンクからSETUPのバンクを選択します。

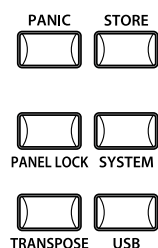
メモリー・ボタン

選択中のバンクから[1]~[6]のSETUPメモリーを選択します。

k その他

[PANIC] ボタン

パネルの設定を電源オン時の状態へ戻し、オールノートオフとリセットオールコントローラーのメッセージをMIDI送信します。
操作していて、本体やMIDI機器の状態をリセットしたい場合に一秒以上の長押しをします。

[STORE] ボタン

各音色やパネルの設定状態を、SETUPとして本体内部に保存します。
また、各SOUNDそれぞれの設定状態や電源オン時の設定を保存できます。

[PANEL LOCK] ボタン

パネルスイッチをロックして、演奏中の誤操作を防止します。ボタンが点灯している時、ロックされます。

[SYSTEM] ボタン

MP10のシステム全体に関わる基本設定を行います。

[TRANSPOSE] ボタン

トランスポーズ機能をON/OFFします。
ボタンを押しながら鍵盤を押さえることで、トランスポーズの値を変更します。
[+/YES][-/NO] ボタンで値を調整することもできます。

[USB] ボタン

USBデバイス内のファイル操作を行います。

2 フロントパネル：端子

[ヘッドホン] 端子

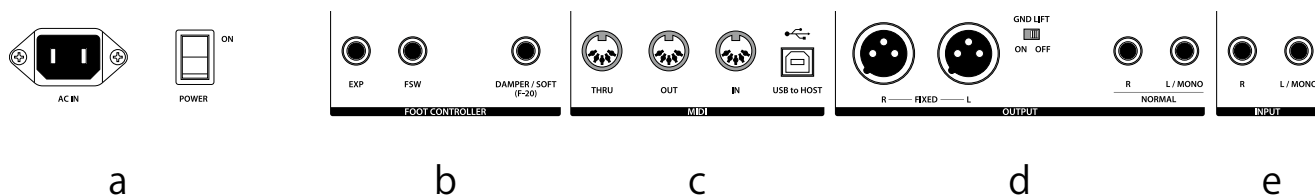
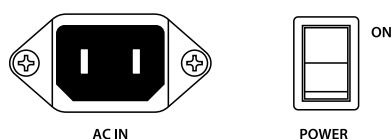
ヘッドホン端子は、前面口棒部分の左にあります。ステレオ標準プラグのヘッドホンを使用して下さい。

[USB to DEVICE] 端子

USB to DEVICE端子は、前面右拍子木の上にあります。
USBメモリーやUSBフロッピーディスクドライブを接続する端子です。
保存されている曲を再生したり、MP10で録音した曲を USB メモリーに保存することもできます。

3 リアパネル

FOOT CONTROLLER　MIDI　R — FIXED — L　OUTPUT　NORMAL　INPUT

a　b　c　d　e

a 電源部

[AC IN] 端子

電源コードでAC100Vのコンセントと接続します。

[POWER]スイッチ

電源のON/OFFを行います。

b [FOOT CONTROLLER] セクション

[EXP] 端子

市販のエクスプレッション・ペダルと接続します。

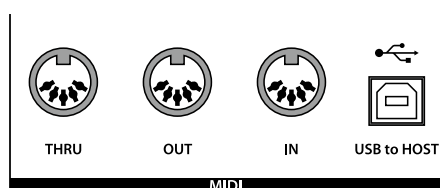
[FSW] 端子

別売のフットスイッチ（F-1）と接続します。

[DAMPER / SOFT (F-20)] 端子

付属のフットペダル（F-20）と接続します。
右側のペダルはダンパーペダル、左側のペダルは工場出荷時はソフトペダルとして働きます。

※これらのフットコントローラーは、[EDIT]メニューでそれぞれの機能を設定可能です。（49 ページの「6 Controllers（コントローラー）」参照）

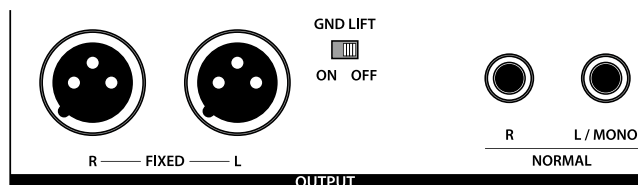
c [MIDI]セクション

[MIDI THRU/OUT/IN] 端子

MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。
[USB to HOST]端子を使用している時は、使用できません。

[USB to HOST] 端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識され通常のMIDIインターフェイスと同様にMIDIメッセージを送受信することができます。

※[USBtoHOST]端子を使ってコンピューターと接続するには、ご使用のOSに依ってドライバー・ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。（39 ページの「USB MIDI ドライバー」参照）

d [OUTPUT]セクション

[FIXED] ([R], [L]) 端子

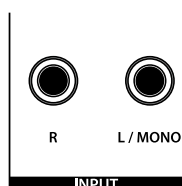
XLR端子を使って、本機とPA機器を接続します。
全体の音量を調整する[VOLUME]フェーダーはバイパスして出力されます。

[GND LIFT] スイッチ

XLR端子で接続した機器との間にグランドループが生じると、ノイズの原因になることがあります。
グランドリフトSWは、ONにすることでこのグランドループを遮断します。通常はOFFに設定しておきます。

[NORMAL] ([R], [L/MONO]) 端子

標準プラグを使って、本機とPA機器やキーボードアンプを接続します。
[L/MONO]端子のみ接続した場合は、モノラル出力されます。

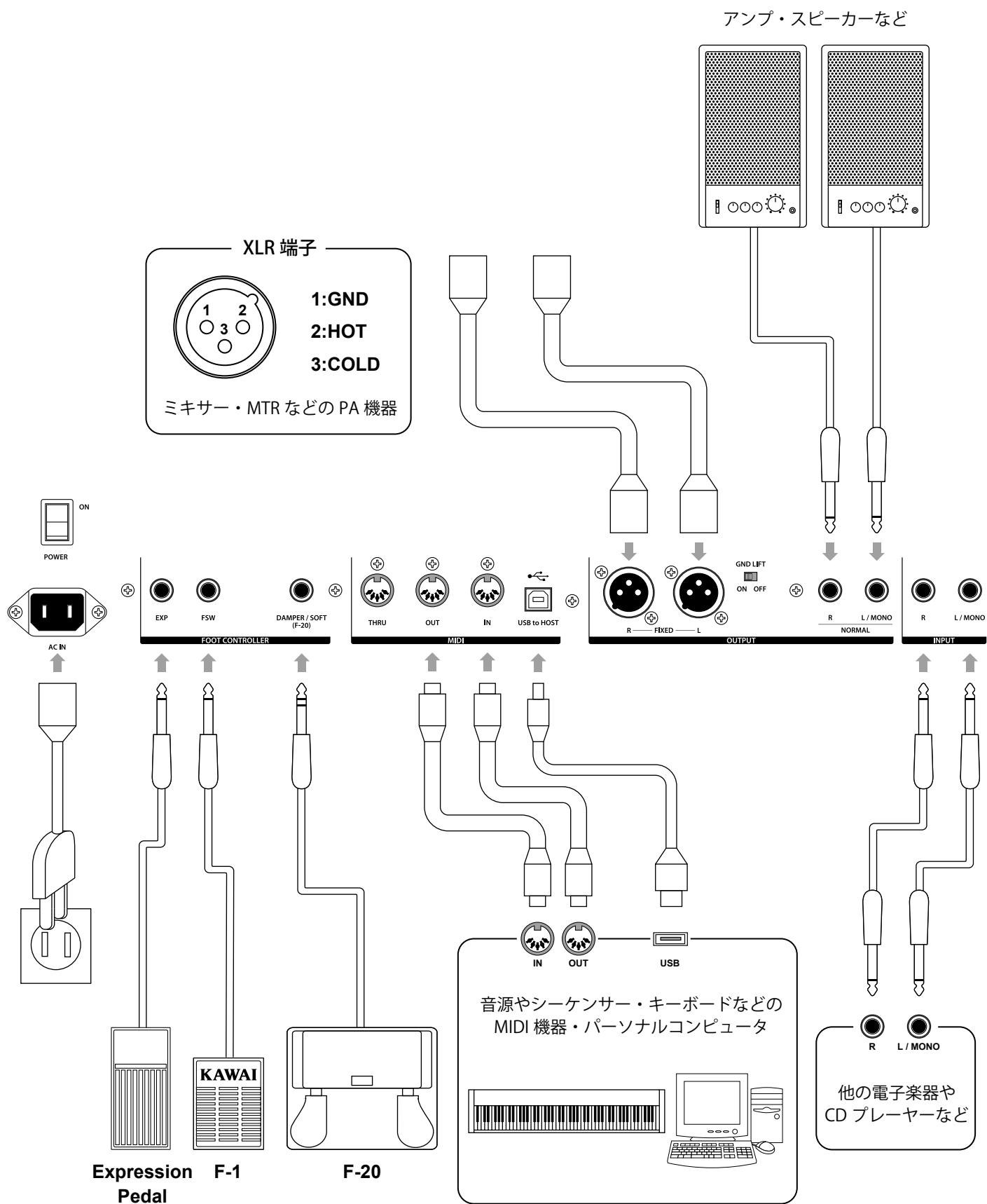
e [INPUT] セクション

[NORMAL] ([R], [L/MONO]) 端子

標準プラグを使って、本機と他の電子楽器やオーディオ機器を接続します。

入力レベルは、[LINE IN]フェーダーで調整します。
[L/MONO]端子のみ接続した場合は、モノラル入力されます。

※入力レベルは、システムメニューでの調整も可能です。
（81 ページの「3. Line-in Level（ラインインレベル）」参照）

他の機器との接続

アンプ・スピーカーなど
XLR 端子
1
2
3
1:GND
2:HOT
3:COLD
ミキサー・MTR などの PA 機器
ON
POWER
AC IN
EXP
FSW
DAMPER / SOFT
(F-20)
FOOT CONTROLLER
THRU
OUT
IN
USB to HOST
MIDI
GND LIFT
ON OFF
R FIXED L
R
L / MONO
NORMAL
OUTPUT
R
L / MONO
INPUT
IN
OUT
USB
音源やシーケンサー・キーボードなどの
MIDI 機器・パーソナルコンピュータ
R
L / MONO
他の電子楽器や
CD プレーヤーなど
KAWAI
Expression Pedal
F-1
F-20

セクションの内部接続

アンプ・スピーカーの接続

MP10はスピーカーを内蔵していませんので、PA機器やキーボードアンプ、またはヘッドホンに接続して演奏します。
オーディオ出力機器へ接続後、リアパネル右にある電源スイッチをONにしてMP10の電源を入れてください。

MP10のセクションについて

MP10は、鍵盤で演奏するための4つの演奏セクション〜3つの内部音色セクションと1つのMIDIセクション〜をコントロールパネル上に持っています。それぞれの演奏セクションは、専用のボリュームフェーダーを持ち、それぞれON/OFFできます。

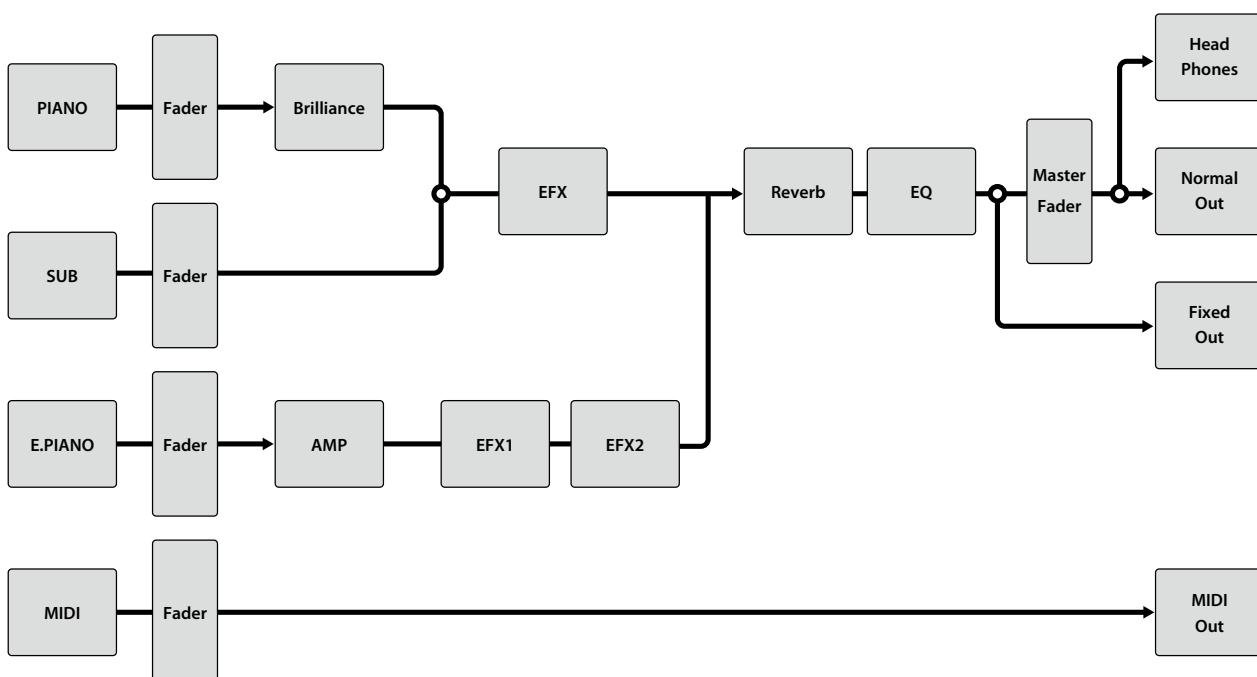
- PIANO、E.PIANO、SUBの内部音色セクションは、それぞれ9つの音色を持っており、3つの音色カテゴリーボタンと3つのバリエーションボタンで音色を選択します。
PIANOとSUBセクションは共通のEFX（エフェクト）、E.PIANOセクションは、専用のEFXモジュールを2つと、さらにアンプシミュレーターを装備しています。

調整した各内部音色はそれぞれプリセット音色として記憶でき、目的の音色にカスタマイズすることができます。

- さらに、3つの内部音色セクションには、共用のREVERB（リバーブ）モジュールとEQ（イコライザー）を装備、全体の残響効果や音質を調整することができます。
そして、4つ目の演奏セクションであるMIDIセクションは、外部MIDI機器をコントロールするためのさまざまな設定が可能です。

これら4つの演奏セクションとEQセクションの設定は、156個のセットアップメモリーに記憶することができます。

内部ブロック図

MP10の4つの演奏セクションの内部構造は次の図のようになっています。

[VOLUME]マスターフェーダーは[NORMAL]出力とヘッドホン出力に効きます。通常、[FIXED]出力をPA機器に、[NORMAL]出力をキーボードアンプへと接続することで、PA機器への出力レベルを固定させたまま、ステージ上でのモニター音量を手元のマスターフェーダー容易に調整できます。

基本操作

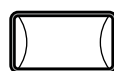
1 音色を選ぶ

MP10のPIANO、E.PIANO、SUBの3つのインターナル・セクションは、それぞれ同じように操作することができます。

このページでは、基本的な音色選択について説明します。

セクションをONにする

演奏したいセクションの [ON/OFF] ボタンを押して点灯させます。

[ON/OFF] ボタンの点灯しているセクションが発音状態になっています。

音色を選ぶ

※例として、Jazz Grand 2 を選びます。

[PIANO] 以外のセクションを OFF にします。

[JAZZ] ボタンを押し、バリエーション [2] ボタンを押すと、Jazz Grand 2 を選ばれます。

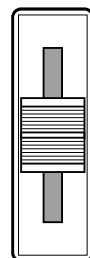
選択されたボタンが点灯し、そのカテゴリーのリストがディスプレイにポップアップ表示されれます。

鍵盤を弾くと Jazz Grand 2 音色が発音します。

音量を調整する

各セクションの [ON/OFF] ボタン下のボリューム・フェーダーにより、それぞれの音量を調整します。

そのセクションの音量が、他のセクションとは独立して増減します。

インターナル・セクション全ての音量を同時に調整したい場合には、パネル左の [VOLUME] マスター・フェーダーを調整してください。
（10 ページの「b [VOLUME] マスター・フェーダー」参照）

2 ディスプレイ/コントロール・ノブ

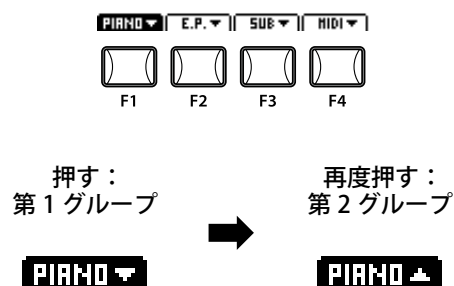
通常の演奏モードでは、ディスプレイに選択されたセクションの音色名と4つのA、B、C、Dノブのパラメーターが表示されています。

それぞれのノブの機能は[EDIT]メニューで割り当てることができ、様々なパラメーターを、4つのノブを使って演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。さらに、PIANO、E.PIANO、SUB、MIDIの4つのセクションのノブ・パラメーターはそれぞれ2つのグループを持ち、幅広いコントロールが可能です。

セクションとノブグループを選ぶ

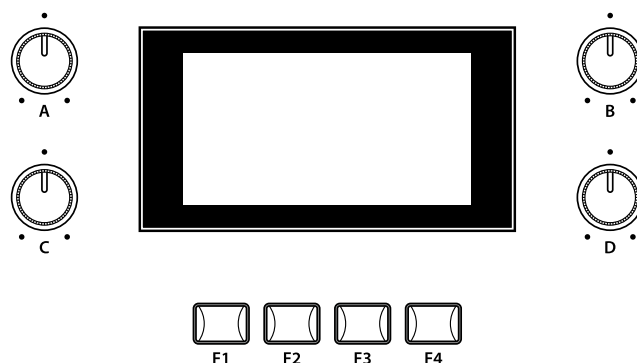
ディスプレイ下のファンクション・ボタン [F1][F2][F3][F4] を押して、目的のセクションの選択画面を表示させます。

選んだセクション名が反転し、選択中の音色のノブ・パラメーターの第1グループが表示されます。

再度同じファンクション・ボタンを押すと、ノブ・パラメーターの第 2 グループが表示されます。

パラメーターを調整する

ディスプレイ横の4つのコントロール・ノブを回して、表示されたノブ・グループのパラメーターを調整します。

※それぞれのノブの機能は[EDIT]メニューで割り当てることができます。（51 ページの「7 Knob Assign（ノブアサイン）」参照）

※[CURSOR]ボタンでカーソルを移動させ、[-/NO][+/YES]ボタンで、値を調整することもできます。

3 リバーブ（REVERB）

リバーブは、MP10の音に残響効果を加えます。MP10は7種類の高品位なリバーブを用意しています。

各音色セクションは、独立した[ON/OFF]ボタンと[DEPTH]ノブを持っており、セクション毎にコントロールできます。

※EDITメニューのREVERB Type/Pre Delay/Timeパラメーターは全てのセクションに共通です。

リバーブのON/OFF

目的のセクションの [REVERB] ボタンを押して、そのセクションのリバーブを ON/OFF します。

[REVERB] ボタンが点灯 / 消灯して、リバーブの現在の状態を示します。

リバーブ OFF

リバーブ ON

リバーブ・デプスを調整する

目的のセクションのリバーブが ON になっていることを確認します。

そのセクションの [DEPTH] ノブを回して、リバーブ・デプスを調整します。

ノブを回すと、リバーブ・デプスの値がディスプレイにポップアップ表示されます。

※リバーブ・デプスの値は、0-127の範囲で調整できます。

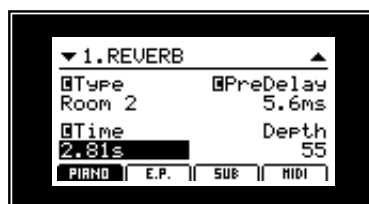
※[SYSTEM]メニューのReverbOffsetパラメーターにより、システム全体のリバーブ量を変更でき、演奏する環境に合わせてリバーブ・デプスを調整することができます。

リバーブ・タイプやその他のパラメーターを変更する

目的のセクションの [REVERB] ボタンを数秒押さえます。

現在選ばれているセクションの [EDIT] メニューのリバーブ設定ページがディスプレイに表示されます。

４つのコントロール・ノブを回して、リバーブ・タイプやその他のリバーブ・パラメーターを調整します。

再度、[REVERB] ボタンを数秒押さえて、設定ページから抜けます。

リバーブ・パラメーター

ノブ	パラメーター	値
A	Type	Hall, Stage, Room, Plate
B	PreDelay	0 - 10.6ms
C	Time	300ms-8.0s (depending on type)
D	Depth	0 - 127

リバーブ・タイプ

タイプ	内容
Hall 1	スタンダードなホールでの残響音をシミュレートしています。
Hall 2	小さなホールでの残響音をシミュレートしています。
Stage1	スタンダードなステージでの残響音をシミュレートしています。
Stage2	小さなステージでの残響音をシミュレートしています。
Room 1	スタンダードな室内での残響音をシミュレートしています。
Room 2	小さな部屋での残響音をシミュレートしています。
Plate	金属板リバーブをシミュレートしています。

4 エフェクト (EFX)

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。MP10は25種類の高品位なエフェクトを用意しています。

PIANOセクションとSUBセクションは、共有のエフェクトモジュールを、E.PIANOセクションは、直列に接続された２つのエフェクトモジュールを持っています。

エフェクトのON/OFF

目的のセクションの [EFX] ボタンを押して、そのセクションのエフェクトを ON/OFF します。

[EFX] ボタンが点灯 / 消灯して、エフェクトの現在の状態を示します。

※E.PIANOセクションの[EFX1]と[EFX2]ボタンも同様にON/OFFできます。

エフェクト・タイプやその他のパラメーターを変更する

目的のセクションの [EFX] ボタンを数秒押さえます。

現在選ばれているセクションの [EDIT] メニューのエフェクト設定ページがディスプレイに表示されます。

４つのコントロール・ノブを回して、エフェクト・タイプやその他のエフェクト・パラメーターを調整します。

再度、[EFX] ボタンを数秒押さえて、設定ページから抜けます。

※E.PIANOセクションの[EFX1]と[EFX2]も同様に変更できます。

エフェクト・タイプ

エフェクト・タイプ	内容
Chorus 1	元々の音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
Chorus 2	Chorus 1と同様で、三角波を利用した効果です。
Flanger 1	ダイレクト音にピッチ（音程）が微妙にずれた音を加えて、ジェット機上昇降下音のようなフランジング効果のシミュレートです。
Flanger 2	Flanger 1と同様で、三角波を利用した効果です。
Celeste	3相のコーラスです。コーラスをさらに柔かにした効果です。
Ensemble	セレステよりも複雑な変調を加えた効果です。
PingDelay	反射音を左右交互に出力します。
Triple Delay	反射音を右、中央、左と順に出力します。
Fast Delay	繰り返しの速いエコー効果です。
Slow Delay	繰り返しの遅いエコー効果です。
A.Pan Sine	音を左右に振ります。正弦波で変調します。
A.Pan Sq. 1	A.Pan Sineと同様で、矩形波を利用した効果です。
A.Pan Sq. 2	音を左右に振ります。スクエア2は、スクエア1に歪みを加えた効果です。
Trem. Sine	音量を連続的に変化させ音に揺れを与えます。正弦波で変調します。
Trem. Sq. 1	Trem. Sineと同様で、矩形波を利用した効果です。
Trem. Sq. 2	Trem. Sineと同様で、さらにオーバードライブを加えた効果です。
Trem. Saw	Trem. Sineと同様で、のこぎり波を利用した効果です。
Phaser 1	位相変調を行い音にうねりを与えます。高域に効果的です。
Phaser 2	位相変調を行い音にうねりを与えます。低域に効果的です。
Rotary 1	回転スピーカーの効果のシミュレートです。
Rotary 2	Rotary2は、1にオーバードライブを加えた効果です。
Auto Wah	音量（タッチ）に応じて、フィルターのピークを移動させる効果です。
Pedal Wah	エクスプレションペダルで、フィルターのピークを移動させる効果です。
Enhancer	音の輪郭を補正して、音を際立たせる効果です。
Overdrive	音を歪ませます。

エフェクト・パラメーター

ノブA：タイプ	ノブB：パラメーター1		ノブC：パラメーター2		ノブD：パラメーター3	
Chorus1	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Chorus2	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Flanger1	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Flamger2	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Celeste	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Ensemble	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Ping Delay	Wet Level	0 - 127	Delay time	0 - 743ms	Feedback	0 - 127
Triple Delay	Wet Level	0 - 127	Delay time	0 - 743ms	Feedback	0 - 127
Fast Delay	Wet Level	0 - 127	Delay time	0 - 372ms	Feedback	0 - 127
Slow Delay	Wet Level	0 - 127	Delay time	0 - 743ms	Feedback	0 - 127
A.Pan Sine	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	-	-
A.Pan Sq. 1	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	-	-
A.Pan Sq. 2	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Drive	0 - 127
Trem. Sine	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	-	-
Trem. Sq. 1	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	-	-
Trem. Sq. 2	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Drive	0 - 127
Trem. Saw	Depth	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	-	-
Phaser 1	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Phaser 2	Dry / Wet	0 - 127	Speed	0 - 12.7Hz	Depth	0 - 127
Rotary 1	Dry / Wet	0 - 127	Speed	Slow / Fast	Acceleration	0 - 127
Rotary 2	Drive	0 - 127	Speed	Slow / Fast	Acceleration	0 - 127
Auto Wah	Dry / Wet	0 - 127	Sense	0 - 127	-	-
Pedal Wah	Dry / Wet	0 - 127	Sense	0 - 127	-	-
Enhancer	Wet Level	0 - 127	Intensity	0 - 127	-	-
Overdrive	Level	0 - 127	Drive	0 - 127	-	-

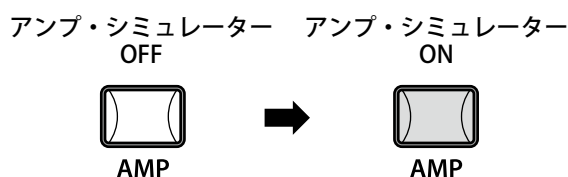
5 AMP (アンプシミュレーター)

アンプやスピーカー・キャビネットの音色のキャラクターは、ビンテージエレピのサウンドにとって重要な要素です。MP10のE.PIANOセクションはドライブ、レベル、3バンドEQのパラメーターを持った、6種類のアンプシミュレーターを用意しています。

アンプ・シミュレーターのON/OFF

E.PIANO セクションの [AMP] ボタンを押して、アンプ・シミュレーターを ON/OFF します。

[AMP] ボタンが点灯 / 消灯して、アンプ・シミュレーターの現在の状態を示します。

アンプ・シミュレーター OFF　AMP　➡　アンプ・シミュレーター ON　AMP

ドライブを調整する

E.PIANO セクションのアンプ・シミュレーターが ON になっていることを確認します。

そのセクションの [DRIVE] ノブを回して、アンプの歪み具合を調整します。

ノブを回すと、ドライブの値がディスプレイにポップアップ表示されます。

※ドライブの値は、0-127の範囲で調整できます。

DRIVE

アンプ・タイプやその他のパラメーターを変更する

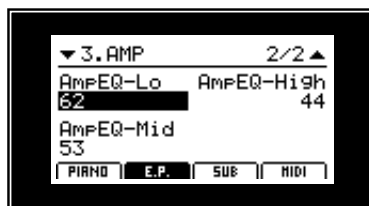
E.PIANO セクションの [AMP] ボタンを数秒押さえます。

現在選ばれているセクションの [EDIT] メニューのアンプ設定ページがディスプレイに表示されます。

[A][B][C] のコントロール・ノブを回して、アンプ・タイプ、ドライブ、レベルを調整します。

[CURSOR ▼] ボタンを押していくと、パラメーターの第2ページへ移動します。

[A][B][C] のコントロール・ノブを回して、 3バンド EQ を調整します。

再度、[AMP] ボタンを数秒押さえて、設定ページから抜けます。

アンプシミュレーター・パラメーター

page 1:

ノブ	パラメーター	内容
A	AmpType	Jazz Combo、Tweed Deluxeなど
B	Drive	アンプドライブレベルの設定
C	Level	アンプ出力レベルの設定

page 2:

ノブ	パラメーター	内容
A	AmpEQ-Lo	低域のトーンレベル設定
B	AmpEQ-Mid	中域のトーンレベル設定
C	AmpEQ-Hi	高域のトーンレベル設定

※アンプ・シミュレーターの詳細な説明は45 ページを参照してください。

内部音色セクション

1 PIANOセクション

MP10のPIANOセクションは、CONCERT、POP、JAZZの３つのカテゴリーに配置された９つの異なるグランドピアノサウンドを用意しています。

各ピアノサウンドは、複数のマイクポジションにより膨大にサンプリングし、丁寧に調整されたカワイ最高峰のコンサートグランドピアノEXのサウンドです。様々な音楽スタイルに適した秀逸なグランドピアノサウンドを厳選しました。

PIANOセクション音色

カテゴリー	No.	音色名	内容
CONCERT	1	Concert Grand	豊かでダイナミックなコンサート・グランド・ピアノです。
	2	Studio Grand	明るく力強いサウンドです。
	3	Mellow Grand	ソフトで暖かいグランド・ピアノ音色です。
POP	1	Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録した明るく刺激的なグランドピアノ音色。
	2	Bright Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録した鋭く鮮やかなグランドピアノ音色。
	3	Mellow Pop Piano	ポピュラーミュージックに適したマイクポジションで収録したソフトで暖かいグランドピアノ音色。
JAZZ	1	Jazz Grand 1	トラディショナルジャズに適したマイクポジションで収録した暖かく力強いジャズピアノ音色。
	2	Jazz Grand 2	モダンジャズやフュージョン系に適したマイクポジションで収録した明るく深みのあるジャズピアノ音色。
	3	Standard Grand	MP8のコンサートグランド音色です。

バーチャルテクニシャン・パラメーターを調整する

調律はアコースティックピアノには欠くことができません。調律師は調律/整調/整音作業により、ピアニストの趣好に合わせてピアノの調整をします。

PIANOセクションのバーチャルテクニシャン・パラメーターはこれらの作業をシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整することができます。

[EDIT] ボタンを押して、EDIT メニュー・リストをディスプレイに表示させます。

[F1] ボタンを押して、PIANO セクションを選択します。その後、[CURSOR ▼] ボタンで "VirtTech" を選びます。

[+/YES] ボタンを押すと、バーチャルテクニシャン設定ページへ入ります。

４つのコントロール・ノブを回して、それぞれのパラメーターを調整します。

[EXIT] ボタンを押して、設定ページから抜けます。

バーチャルテクニシャン・パラメーター

パラメーター名	内容
Voicing	弦を叩くハンマーの調整をシミュレートします。
Stereo Width	ピアノ・サウンドの左右の拡がりを調整します。
String Resonance	ピアノの弦の共鳴効果音の量を調整します。
Damper Resonance	ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果音の量を調整します。
Key-off Effect	ピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときのダンパーが弦に触れる音の音量を調整します。
Damper Noise	ダンパーペダルを踏んだときの音の音量を調整します。
Hammer Delay	弱打で演奏したときのハンマーが弦をたたく時の遅れ（タイミング）を調整します。
Fall Back Noise	鍵盤のアクションが戻るときの音の音量を調整します。
Brilliance	ピアノ全体の音の明るさを調整します。

※バーチャル・テクニシャンの詳細な説明は44 ページを参照してください。

2 E.PIANOセクション

MP10のE.PIANOセクションは、TINE、REED、OTHERSの3つのカテゴリーに配置された9つの異なるエレクトリックピアノサウンドを用意しています。

各エレクトリックピアノサウンドは、キーオフ時のレスポンスまでオリジナルのビンテージ楽器を忠実に再現、ビンテージエレピのリアルなサウンドをお楽しみいただけます。

※ビンテージエレピ特有のキーオフノイズの音量とタイミングを調整することができます。
（48 ページの「Key-OffNoise/Key-OffDelay（E.PIANOセクション）」参照）

また、最大2つまで使用可能なエフェクト、アンプやスピーカーキャビネットのシミュレーションが、豊かなサウンドを生み出します。

E.PIANOセクション音色

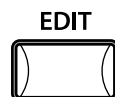
カテゴリー	No.	音色名	内容
TINE	1	Tine EP 1	金属片（Tine)をハンマーで叩き、音叉のような共鳴体が共振する独特の音色を発音する、代表的なエレクトリックピアノサウンドです。
	2	Tine EP 2	金属的なアタックを強調し、より明るい音へ調整されたモデルのサウンドです。
	3	Tine EP 3	明るいアタックを持ったエレピサウンドです。
REED	1	Reed EP 1	振動板（Reed)をハンマーで叩いて発音する構造の代表的なエレクトリックピアノサウンドです。
	2	Reed EP 2	強打したときに独特の歪み気味のトーンを持つ、明るい音に調整されたサウンドです。
	3	Reed EP 3	中音域を強調し、より暖かい音に調整されたサウンドです。
OTHERS	1	Modern EP	TINE EPタイプの音を電子的に再現した、典型的なシンセエレピ音色です。
	2	Clavi 1	鍵盤を弾いて内部に張られた弦をはじいて発音、ピックアップで拾い電気的に増幅したサウンドです。Clavi1は、ファンク・ミュージックに適した代表的なセッティングです。
	3	Clavi 2	よりナチュラルなサウンドのピックアップのセッティングです。アンプシミュレーターとの組み合わせに適しています。

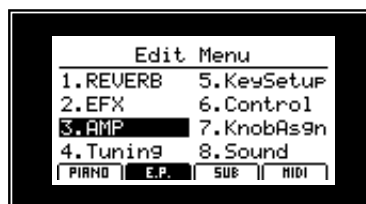
アンプ・シミュレーターのパラメーターを調整する

アンプやスピーカー・キャビネットの音色のキャラクターは、ビンテージ・エレピ・サウンドにとって重要な要素です。

E.PIANOセクションのアンプ・シミュレーターは代表的な6種類のアンプ・タイプをシミュレートし、多彩なエレピサウンドメイキングを可能にします。

※ 26 ページで説明した手順に加えて、次の方法でもアンプ・シミュレーターのパラメーターを調整することができます。

[EDIT] ボタンを押して、EDIT メニュー・リストをディスプレイに表示させます。

[F2] ボタンを押して、E.PIANO セクションを選択します。その後、[CURSOR ▼] ボタンで "AMP" を選びます。

[+/YES] ボタンを押すと、アンプ・シミュレーター設定ページへ入ります。

コントロール・ノブを回して、それぞれのパラメーターを調整します。

[EXIT] ボタンを押して、設定ページから抜けます。

アンプ・タイプ

アンプ・タイプ	内容
Jazz Combo	標準的なトランジスター・アンプです。
Tweed Deluxe	60年代のビンテージ・タイプです。クリーンなサウンドに適しています。
Tweed Bass	コンボ・タイプのベース・アンプをシミュレートしています。
British Blues	軽く歪んだサウンドに向いています。
UK Class A	独特のオーバードライブ・サウンドを持ったアンプ・タイプです。
Tube Pre Amp	キャビネットを含まない標準的な真空管プリアンプのシミュレートです。

3 SUBセクション

MP10のSUBセクションは、STRINGS、PAD、OTHERSの3つのカテゴリーに、9つの補助音色を用意しています。

これらの音色はPIANO、E.PIANOセクションの音と重ねて演奏するのに向いています。もちろん、単音色での演奏もできます。

SUBセクション音色

カテゴリー	No.	音色名	内容
STRINGS	1	Hybrid Strings	自然なストリングです。ボーイングでクリアなサウンドになります。
	2	Hybrid Ensemble	自然なストリングのアンサンブルです。スムーズで温かいサウンドです。
	3	Beautiful Str.	穏やかでゆっくりとしたストリング・アンサンブルです。
PAD	1	Pad 1	PIANOとE.PIANOの組み合わせによる温かいPadです。
	2	Pad 2	PIANOとE.PIANOの組み合わせによる柔らかいPadです。
	3	String Pad	ストリング・アンサンブルによるPadです。
OTHERS	1	Vibraphone	温かいサウンドのビブラフォンです。
	2	Harpsichord	ステレオ・ハープシコードです。
	3	Choir Ooh/Aah	バックコーラス・サウンドです。

レイヤー音色パラメーターを調整する

[EDIT] ボタンを押して、EDIT メニュー・リストをディスプレイに表示させます。

[F3] ボタンを押して、SUB セクションを選択します。その後、[CURSOR ▼] ボタンで "Layer" を選びます。

[+/YES]ボタンを押すと、レイヤー音色設定ページへ入ります。

４つのコントロール・ノブを回して、それぞれのパラメーターを調整します。

[EXIT] ボタンを押して、設定ページから抜けます。

レイヤー音色パラメーター

SUBセクションは、2つの特徴的なパラメーター、「Sweep」と「Bell」を持っています。選択中の音に、スウィープ音やベル音を加えて、音のバリエーションを広げます。

パラメーター	内容
Sweep	選択中の音に、金属的な動きのあるスウィープ音色を加えます。
Bell	選択中の音に、アタックのあるベル音色を加えます。

SUBセクションのEFXについて

PIANOセクションとSUBセクションは、一つのEFXモジュールを共有しています。
（23 ページの「4 エフェクト（EFX）」参照）

両セクションEFXが同時にONになっている場合は、PIANOセクションのEFXパラメーターの設定が優先されます。

この場合、SUBセクションのエディットメニューのEFXページの設定は、一時的に無効になり、SUBセクションのEFXボタンは緑色に点灯します。

EQセクション

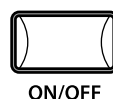
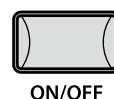
EQ（イコライザー）セクションでは、インターナル・セクションに対して、3バンドのイコライジング調整ができます。

更に中音域は、パラメトリック・イコライザーとして周波数帯域を調整できます。イコライザーの設定は、全てのインターナル・セクションに共通です。

EQのON/OFF

目的のセクションの [EQ] ボタンを押して、イコライザーをON/OFF します。

[EQ] ボタンが点灯 / 消灯して、イコライザーの現在の状態を示します。

イコライザー OFF　ON/OFF ➡ イコライザー ON　ON/OFF

EQパラメーターを調整する

[LO][MID][HI] ノブを回して、それぞれの周波数帯域をブースト / カットします。また、[FREQ] ノブは中音域の周波数帯域を設定します。

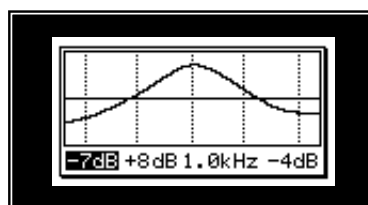
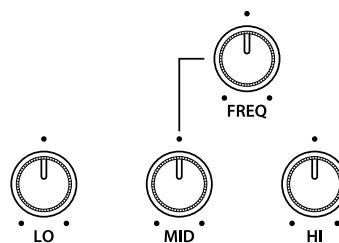
３バンドのレベルや、中音域の周波数が変更されると、イコライザー設定画面が表示されます。

※レベルは、-9dB～+9dBで変更できます。

※中音域の周波数は、355Hz～2.5kHzで変更できます。

設定後、数秒で設定画面から抜けます。

[EQ] ボタンを長押しすると、EQ 設定を変更せずにイコライザー設定を確認できます。

※[SYSTEM]メニューのEQOffsetパラメーターにより、システム全体のEQを補正でき、演奏する環境に合わせてEQ設定を調整することができます。
（83 ページの「2 Offset（オフセット）」参照）

様々な機能

1 メトロノーム

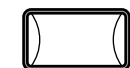
メトロノームを鳴らしてテンポを確認したり、リズム・パターンを加えて演奏することができます。

通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ロック/バラード/ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

メトロノーム機能を開始する

[METRONOME] ボタンを押して点灯させせます。

メトロノーム機能が ON になり、ディスプレイにメトロノーム画面が表示されます。

※メトロノームはまだ発音しません。

メトロノームの発音：クリック・モード

[F1] (CLICK) ボタンを押し、[F3] (LISTEN) ボタンを押します。

LISTEN アイコンが反転し、メトロノームが発音します。

再度 [F3] (LISTEN) ボタンを押すとメトロノームのカウントが止まり、LISTEN アイコンボタンが反転が戻ります。

メトロノームの音量、テンポ、拍子の設定

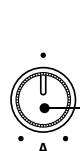
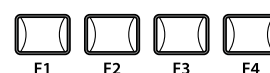
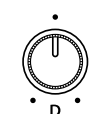
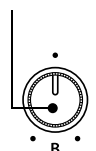
[F3] (LISTEN) ボタンを押して、メトロノームは発音させ、コントロール・ノブ [A][B][C] を回して、メトロノームの音量、テンポ、拍子を調整します。

※メトロノームのテンポは、30〜300 (8分の拍子のときは、60〜600) の範囲で設定できます。

※拍子は 1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択できます。

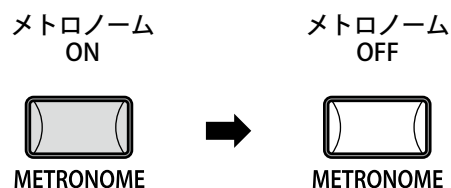
[F4] (BACK) ボタンを押せば、メトロノームを止めずに通常の演奏モード画面へ戻ることができます。

※レコーダーモードでは、メトロノームはカウントイン待機状態になり止まります。

※[METRONOME]ボタンを長押しすると、再度メトロノーム画面が表示されます。

メトロノーム機能を終了する

[METRONOME] ボタンを押して消灯させせます。

メトロノーム機能が OFF になり、ディスプレイが通常の演奏モード画面に戻ります。

※メトロノーム発音中であれば、カウントが止まります。

メトロノームの発音：リズム・モード

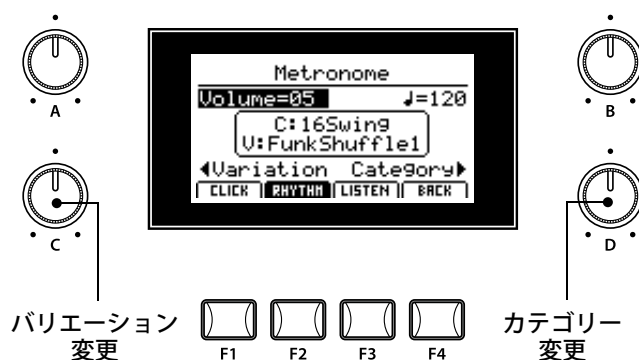
[F2] (RHYTHM) ボタンを押し、[F3] (LISTEN) ボタンを押します。

LISTEN アイコンが反転し、リズム・パターンが発音します。

再度 [F3] (LISTEN) ボタンを押すとリズム・パターンが止まり、LISTEN アイコンボタンが反転が戻ります。

リズムのカテゴリーとバリエーションの変更

[F3] (LISTEN) ボタンを押して、リズム・パターンは発音させ、コントロール・ノブ [C][D] を回して、リズムのカテゴリー、バリエーションを変更します。

※リズム・パターンのリストは86 ページを参照してください。

2 パネル・ロック

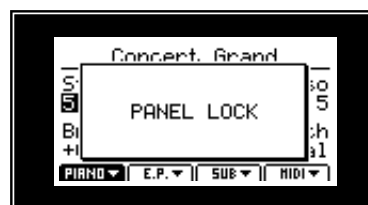
パネル・ロックは、演奏中の誤操作を防止する為に、パネルのほとんどの機能を一時的にロックすることができます。

パネル・ロックのON/OFF

[PANEL LOCK] ボタンを押して、パネル・ロックを ON/OFF します。

[PANEL LOCK] ボタンが点灯 / 消灯して、パネル・ロック機能の現在の状態を示します。

パネル・ロックが ON になっているときは、鍵盤、ペダル、ピッチベンド / モジュレーション・ホイールと [PANEL LOCK] ボタン自身を除くパネル操作が禁止されます。

※[PANEL LOCK]ボタンは [SYSTEM] のUtilityページで、他の機能を選ぶことができます。
（82 ページの「11. Lock Mode（ロックモード）」参照）

3 トランスポーズ

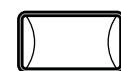
トランスポーズ機能を使って、本機全体の音程を半音単位で変更することができます。

キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をする時にとても便利です。弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

トランスポーズの値を表示させる

[TRANSPOSE] ボタンを押します。

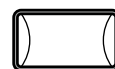
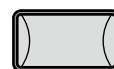
現在のトランスポーズの値がディスプレイにポップアップ表示されます。

値が 0（初期値）の時は、トランスポーズはかかりません。

トランスポーズ値の設定：方法1

[TRANSPOSE] ボタンを押さえたまま、[-/NO][+/YES] ボタンを押して、半音単位でトランスポーズ値を増減します。

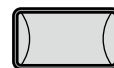
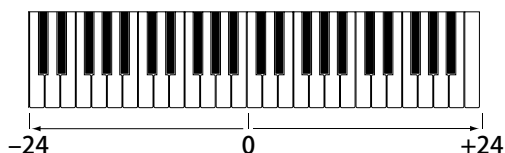
※トランスポーズ値は、-24〜0〜+24 (4オクターブ) の範囲で設定できます。

[TRANSPOSE] ボタンが点灯 / 消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

※[-/NO][+/YES]ボタンを同時押しすると、トランスポーズ値は、0へ戻ります。

トランスポーズ値の設定：方法2

[TRANSPOSE] ボタンを押さえたまま、中央の C の左右の鍵盤を押さえます。押さえた鍵が、新たなトランスポーズ値となります。

※トランスポーズ値は、-24〜0〜+24 (4オクターブ) の範囲で設定できます。

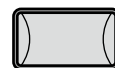
[TRANSPOSE] ボタンが点灯 / 消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

トランスポーズのON/OFF

[TRANSPOSE] ボタンを押して(押し続けない)、トランスポーズを ON/OFF します。

[TRANSPOSE] ボタンが点灯 / 消灯して、トランスポーズの現在の状態を示します。

※トランスポーズがOFFされた後もトランスポーズ値を覚えていますので、[TRANSPOSE]ボタンのON/OFFで簡単に設定した調に切り換えることができます。

トランスポーズ OFF

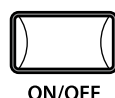
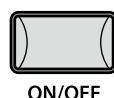
トランスポーズ ON

MIDI セクション

MP10のMIDIセクションの基本的な操作は、PIANO、E.PIANO、SUBの内部音色セクションと同様に、[ON/OFF]ボタンとボリュームフェーダーを使います。ただしこのセクションは、内部音色ではなく外部MIDI機器をコントロールする為に使用します。

MIDIセクションのON/OFF

MIDI セクションの [ON/OFF] ボタンを押して点灯させせます。

[ON/OFF] ボタンが点灯 / 消灯して、MIDI セクションの現在の状態を示します。

MIDI セクションが ON のとき、鍵盤やペダルのイベントの MIDI 信号が [MIDI OUT］端子や [USB to HOST] 端子から、選択した MIDI チャンネルで送信されます。

MIDI送信チャンネルを選択する

[MIDI CH ▲][MIDI CH ▼] ボタンを押して MIDI 送信チャンネルを選択します。

※MIDIチャンネルは1〜16チャンネルの範囲で選択できます。

MIDI 送信チャンネルは、接続する機器の MIDI 受信チャンネルと一致する必要があります。

コントロールチェンジを送信する

[ON/OFF] ボタン下のボリュームフェーダーを動かすと、コントロールチェンジ 07 番のボリュームメッセージが送信されます。

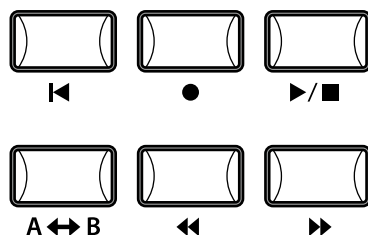
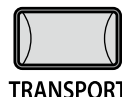
４つのコントロールノブは、エディットメニューの設定ページで割り当てられたコントロールチェンジを送信します。（51 ページの「7 Knob Assign（ノブアサイン）」参照）

MMCメッセージを送信する

[TRANSPORT] ボタンを押します。

[TRANSPORT] ボタンが点灯し、レコーダーコントロールボタンが、外部 MIDI 機器へ MMC メッセージを送信することを示します。

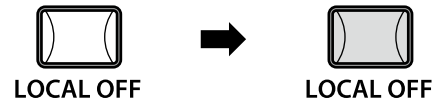
レコーダーコントロールボタンを押すと、MMC メッセージが送信されます。

※それぞれのボタンの機能は、エディットメニューのMMC設定ページで割り当てます。
（53 ページの「4 MMC（エムエムシー/システムパラメーター）」参照）

ローカルオフボタン

[LOCAL OFF] ボタンを押して点灯させると、MP10 の鍵盤と内部音源の接続が遮断されます。

通常は [LOCAL OFF] ボタンを消灯させて、MP10 の鍵盤と内部音源を接続させます。

外部機器のエコーバック（ソフトスルー）機能がオンになっている場合、[LOCAL OFF] ボタンを点灯させて、ローカルオフの状態にしてください。

演奏した音の二重発音を防ぐことができます。

パニックボタン

[PANIC] ボタンを一秒以上長押しすると、内部音色セクションを全て電源オン状態へ戻し、オールノートオフとリセットオール・コントローラーの MIDI メッセージを、接続された機器へ送信し、外部機器の発音を止めます。

外部 MIDI 機器の鳴りっ放しや、本体の設定を電源オン状態へ戻したい場合など、緊急事態の際に使用します。

USB-MIDI について

コンピューターとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDI ドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。

お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

USB MIDI ドライバー

Operating System	USB MIDI Driver Support
Windows ME Windows XP (no SP, SP1, SP2, SP3) Windows XP 64-bit Windows Vista (SP1, SP2) Windows Vista 64-bit (SP1, SP2) Windows 7 Windows 7 64-bit	Windows に搭載されている標準 USB-MIDI ドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこの USB-MIDI ドライバーがインストールされます。 アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして Windows ME / XP / XP 64bit の場合は「USB オーディオデバイス」を、Windows Vista / Vista 64-bit / 7 / 7 64-bit の場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Windows 98 se Windows 2000 Windows Vista (no SP)	指定の専用 USB-MIDI ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。 下記のカワイホームページより専用 USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。 ※Windows Vista の場合は必ず XP 互換モードでインストールしてください。 http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/ ・パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。この作業を行わずに接続すると、USB-MIDI ドライバーが動作しない場合があります。万一動作しなくなった場合は、OS の「ドライバーの更新」機能によって正しい USB-MIDI ドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。 ・アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。
Windows Vista 64-bit (no SP)	USB-MIDI をサポートしておりません。SP1、または SP2 にアップグレードをしてください。
Mac OS X	Macintosh OS X では自動的にUSB-MIDIデバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。 アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。
Mac OS 9	OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の MIDI インターフェイスを使用して、MIDI 接続してください。

USBに関するご注意

■MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。

■デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

■デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

■デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

■下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。

「ドライバーのインストール中」
「コンピュータの起動中」
「MIDIアプリケーションが動作中」
「コンピュータと通信中」
「省電力モードで待機中」

■お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

エディットメニュー概要

エディットメニューには、MP10の内部音色セクションとMIDIセクションの設定を変更することができる様々なパラメーターがあります。パラメーターはカテゴリーごとにまとめられており、目的のパラメーターへのアクセスが容易です。このパラメーター群は、他の調整可能な設定とともにセットアップメモリーに保存できます。
（57 ページの「セットアップメモリー」参照）
MP10は、26バンク×6セットアップの合計156セットアップメモリーを用意しています。

内部音色セクション

No.	カテゴリー	パラメーター
1	Reverb	Type, Pre Delay, Time, Depth
2	EFX	Type, Parameters (depends on EFX type)
3	VirtTech (PIANO)	Voicing, Stereo Width, String Resonance, Damper Resonance, Key-off Effect,
		Damper Noise, Hammer Delay, Fall Back Noise, Brilliance
	AmpSim (E.PIANO)	Amp Type, Drive, Level, Amp EQ
	Layer (SUB)	Sweep, Bell
4	Tuning	Fine Tune, Stretch Tuning, Temperament, Key of Temperament
5	KeySetup	Touch Curve, Octave Shift, KS-Damping/KS-Key, Key Off Noise (E.PIANO),
		Key Off Delay (E.PIANO), Dynamics (SUB)
6	Controllers	Damper Pedal, Damper Pedal Mode, Left Pedal, Left Pedal Mode, Pitch Bend,
		Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Expression Pedal,
		Expression Pedal Assign, Foot SW, Foot SW Assign
7	KnobAsgn	n/a
8	Sound	Attack Time, Decay Time, Sustain Level, Release Time, Filter Resonance,
		Filter Cut-Off, Panpot, Volume

基本的に、PIANO、E.PIANO、SUBの３つの内部音色のパラメーターの設定は、それぞれのセクションに独立に効きますが、C（Common）アイコンで印の付けられたパラメーターは、３セクション共通になります。

MIDIセクション

No.	カテゴリー	パラメーター
1	Program	Program, Bank MSB/LSB
2	Transmit (SYSTEM)	Send Program, Send Bank, Send Volume, Send Knobs, Transmitting Recorder
3	Receive (SYSTEM)	Recieve Mode, PIANO Channel, E.PIANO Channel, SUB Channel
4	MMC (SYSTEM)	MMC Dev. ID, MMC Commands
5	KeySetup	Touch Curve, Octave Shift, Split/Split Point, Dynamics, Solo, Transmit
6	Controllers	Damper Pedal, Left Pedal, Left Pedal Assign, Pitch Bend,
		Bend Range, Modulation Wheel, Modulation Wheel Assign, Expression Pedal,
		Expression Pedal Assign, Foot SW, Foot SW Assign
7	KnobAsgn	n/a

SYS（System）アイコンで印の付けられたカテゴリーは、システムパラメーターです。エディットメニューを抜ける際に、自動的に本体に記憶されます。

エディットメニューへ入る

[EDIT] ボタンを押します。

[EDIT] ボタンが点灯し、エディットメニューリストが表示されます。

パラメーターのカテゴリーを選ぶ

エディットメニューへ入った後：

[F1][F2][F3][F4] ボタンを押して、エディットしたい目的のセクションを選びます。

次に [CURSOR] ボタンを押して、目的のカテゴリーを選び、[+/YES] ボタンで、設定ページへ入ります。

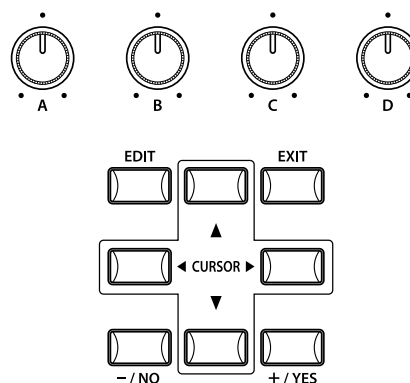
パラメーターを調整する

ディスプレイ横の４つのコントロールノブを回して、表示されたノブグループのパラメーターを調整します。

※数値のパラメーターは通常0~127の範囲で調整できます。

パラメーターは、[CURSOR] ボタンでカーソルを移動させ、[-/NO][+/YES] ボタンで、値を調整することもできます。

※[CURSOR▲][CURSOR▼]ボタンを押していくと、エディットメニューの他のカテゴリーやページを選ぶことができます。

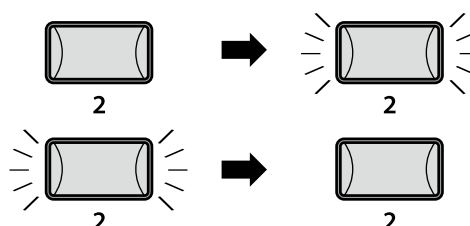
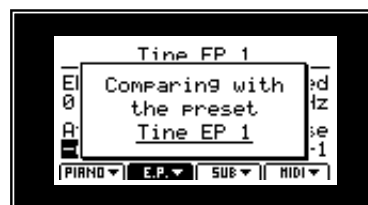
[EXIT] ボタンを押していくと、通常の演奏モードの画面へ戻ります。

他の音色を選ぶと、パラメーターの設定内容は失われてしまいますのでご注意ください。
※設定した内容は、[STORE] ボタンを使って本体のメモリーに保存します。（54 ページの「ストアボタン」参照）

クイックコンペア

選択中のバリエーションボタンを押すと、”クイックコンペア”機能により、エディット中の音色と保存されている元の音色を、即座に比較することができます。

例えば、JazzGrand2（PIANO セクション、JAZZ カテゴリ、バリエーション 2）の調整を再検討する場合は、PIANO セクションのバリエーション [2] ボタンを押します。

[2] ボタンが点滅し、鍵盤を弾くと、保存されている元の音色が発音します。

再度、[2] ボタンを押すと、点滅を止めボタンが点灯し、エディット中の音色に戻ります。

1 REVERB（リバーブ）

1. Type（タイプ）

7 types

リバーブタイプを選びます。

※詳細は22 ページを参照してください。

※このパラメーターは３つの内部音色セクション全てに共通になります。

※このパラメーターはセットアップ（SETUP）にのみ保存され、各音色のプリセット（SOUND）には保存されません。

2. Pre Delay（プリディレイ）

value: 0 - 10.6ms

リバーブの残響効果が開始するまでの遅延時間を調整します。

※詳細は22 ページを参照してください。

※このパラメーターは３つの内部音色セクション全てに共通になります。

※このパラメーターはセットアップ（SETUP）にのみ保存され、各音色のプリセット（SOUND）には保存されません。

3. Time（タイム）

value: 300ms - 8.0s

リバーブの残響時間を調整します。

※詳細は22 ページを参照してください。

※このパラメーターは３つの内部音色セクション全てに共通になります。

※このパラメーターはセットアップ（SETUP）にのみ保存され、各音色のプリセット（SOUND）には保存されません。

4. Depth（デプス）

value: 0 - 127

リバーブの残響効果の深さを調整します。

各セクションの[DEPTH]ノブでも、調整できます。

※詳細は22 ページを参照してください。

2 EFX（エフェクト）

1. Type（タイプ）

25 types

エフェクト・タイプを選びます。

※詳細は23 ページを参照してください。

※E. PIANO セクションには、[EFX1]と[EFX2]の２ページがあります。

※PIANO セクションとSUB セクションの[EFX]の両方がＯＮになっているときは、PIANOセクションの設定が優先されます。

2. Parameters（パラメーター）

n/a

これらのパラメーターは、選択されたエフェクト・タイプによって異なります。

エフェクトのかかり具合（Dry/WetBalance）や、デプス（Depth）、スピード（Speed）、フィードバック（Feedback）などを調整します。

※詳細は23 ページを参照してください。

3.1 Virtual Technician（バーチャルテクニシャン / PIANOセクション）

1. Voicing（ボイシング）

6 types

アコースティックピアノのハンマーフェルト調整をシミュレートした効果で、次の 6 種類の中より選べます。

Voicing types（ボイシング・タイプ）

種類	内容
Normal	通常の設定です。
Mellow 1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
Mellow 2	Mellow 1 よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
Dynamic	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
Bright 1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
Bright 2	Bright 1 より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。

2. Stereo Width（ステレオウィドゥス）

value: 0 - 127

ステレオ音の拡がり具合を調整します。

値を0にするとモノラルになります。

3. String Resonance（ストリングレゾナンス）

value: 0 (Off) - 10

ストリングレゾナンスの音量を調整します。

ピアノは各鍵盤毎に弦が張られていますが、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これを「ストリングレゾナンス」と呼んでいます。

4. Damper Resonance（ダンパーレゾナンス）

value: 0 (Off) - 10

ダンパーレゾナンスの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだとき、全てのダンパーが持ち上げられて弦が自由に振動できるようになります。ダンパーペダルを踏んだ状態で演奏すると、弾いた音だけでなく、他の弦全体の共鳴が発生します。これを「ダンパーレゾナンス」と呼んでいます。

5. Key-off Effect（キーオフエフェクト）

value: 0 (Off) - 10

キーオフエフェクトの音量を調整します。

特に鍵盤の低音域で、鍵盤を強く弾いて急に離したときに、弦の振動が止まる直前にダンパーが弦に触れる音が発生します。このキーオフ時の効果音の音量を調整できます。.

6. Damper Noise（ダンパーノイズ）

value: 0 (Off) - 10

ダンパーノイズの音量を調整します。

ダンパーペダルを踏んだときと、話したとき、ダンパーヘッドが弦に触れたり、離れたりする際のノイズ音が発生します。このノイズの音量を調整します。

7. Hammer Delay（ハンマーディレイ）

value: 0 (Off) - 10

ピアニシモで弾いた時は、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。

このハンマーの遅れを演奏しやすいタイミングに調整します。

8. Fall-back Noise（フォールバックノイズ）

value: 0 (Off) - 10

鍵盤を離した後、鍵盤アクションが戻った時に発生するノイズ音の音量を調整します。

9. Brightness（ブライトネス）

value: –10 - +10

ハンマーフェルト調整のボイシングパラメーターとは別に、ピアノ全体の音質の明るさを調整します。

3.2 Amp Simulator（アンプシミュレーター / E.PIANOセクション）

1. Amp Type（アンプ・タイプ）

6 types

アンプシミュレーターのタイプを選択します。

※詳細は26 ページを参照してください。

2. Drive（ドライブ）

value: 0 - 127

アンプシミュレーターの歪みの量を調整します。E.PIANOセクションの[DRIVE]ノブでも調整できます。

※詳細は26 ページを参照してください。

3. Level（レベル）

value: 0 - 127

アンプシミュレーターの音量を調整します。

※詳細は26 ページを参照してください。

4. Amp EQ（アンプEQ）

value: 0 - 127

アンプシミュレーターのHI、MID、LOそれぞれの周波数帯域をブースト/カットします。

※アンプEQは、EQセクションのメイン・イコライザーとは独立して効きます。

※詳細は26 ページを参照してください。

3.3 Layer Tone（レイヤートーン / SUBセクション）

1. Sweep（スウィープ）

value: 0 - 127

SUBセクションの音色に追加するスウィープ音色の音量を調整します。

2. Bell（ベル）

value: 0 - 127

SUBセクションの音色に追加するベル音色の音量を調整します。

4 Tuning（チューニング）

1. Fine Tune（ファインチューン）

value: –64 - +63

セクション間での音程調整を約±1/2半音の間で設定します。

2. Stretch Tuning（ストレッチチューニング）

9 types

ストレッチチューニングに関する設定を行います。Off,Narrow1/2, Normal,Wide1/2/3/4/5の9種類から、選択できます。

※ピアノは、より自然な響きを得る為、通常、基本となる音律に対して低音をより低く、高音はより高く調律されます。このような調律方法をストレッチチューニングといいます。

※"Normal"は標準的なチューニング、"Wide"はピアノの独奏に適したチューニングです。

3. Temperament（音律）

7 types + 2 user

音律を選択します。

4. Key of Temperament（音律の主音）

Range: C - B

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定します。

演奏する曲の調号に合わせます。

音律の種類

種類	内容
Equal	平均律。オクターブを等分割した現在では標準的な調律法です。どの調でも同じ響きが得られるという特徴があります。
Pure Maj/min	純正律（長調）。3 度と 5 度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。 純正律（短調）。純正律は長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
Pythagorean	Pytagorean（ピタゴラス音律）。5 度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
Meantone	Meantone（中全音律）。3 度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の 5 度が著しく不協和であることを改良したので、平均律よりも和音が美しく響きます。
Werkmeis/Kirnberg	Werkmeister（ヴェルクマイスター第III法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、純正 3 度は存在せず、平均律的な平坦な調律法です。 Kirnberger（キルンベルガー第III法）。ピタゴラスと中全音律を組み合わせた音律で、3 度が純正に響く調と 5 度が純正に響く調を併せ持つことで調性の性格を反映できる調律法です。
Sys.User1/2	音律を自由に設定することができます。（84 ページの「ユーザー音律作成」参照）

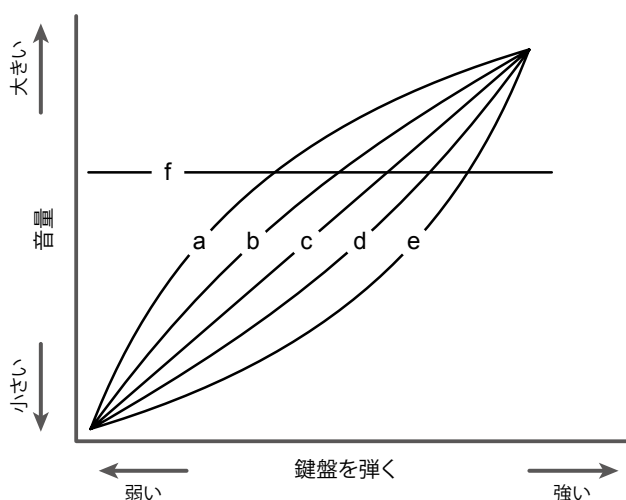
5 Keyboard Setup（キーボードセットアップ）

1. Touch Curve（タッチカーブ）

6 types + 2 user

鍵盤のタッチレスポンスのカーブを選択します。

タッチカーブの種類

種類	内容
Heavy+ Heavy	強いタッチで弾くと大きな音が出ます。指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
Normal	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
Light Light +	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
Off	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
Sys.User1/2	ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせたタッチカーブです。（83 ページの「ユーザータッチカーブ作成」参照）

a	Light +
b	Light
c	Normal
d	Heavy
e	Heavy +
f	Off

2. Octave Shift（オクターブシフト）

–3 - +3 Octaves

選択したセクションのオクターブシフト値を設定します。

3. KS-Damping/KS-Key（キースケーリングパラメーター）

On/Off, Range: A-1 - G7

ベロシティを高音域に行くにしたがって、次第に減少させます。ピアノとストリングスを重ねて演奏する際高音域でストリングスのレベルを下げたい場合等に便利です。

“KS_Key”から最高鍵までの鍵域で、高音域に行くほど次第にベロシティが小さくなります。

※MIDIセクションにはこの機能はありません。

4. Split/Split Point（スプリット/MIDIセクション）

Off/Lower/Upper, Range A-1 C7

鍵盤を分割して、接続したMIDIデバイスとPIANO、E.PIANO、SUBの内部音色セクションを、異なる鍵域で独立してコントロールできます。

スプリットの設定は、LOWER（低音域）かUPPER（高音域）かを選択でき、選択した音域がMIDI送信され、他方の鍵域で内部音色セクションが発音します。

※この機能はMIDIセクションのみです。

※この機能とMIDIセクションが有効になっているとき、選択した音域では内部音色セクションは発音しません。

5. Key-off Noise（キーオフノイズ/E.PIANOセクション）

value: 0 - 127

エレピの鍵盤が離された時に鳴るノイズ音の音量を調整します。

※このパラメーターは、E.PIANOセクションのみです。

6. Key-off Delay（キーオフディレイ/E.PIANOセクション）

value: 0 - 127

エレピの鍵盤が離されてから、ノイズ音が発生するまでのタイミングを調整します。

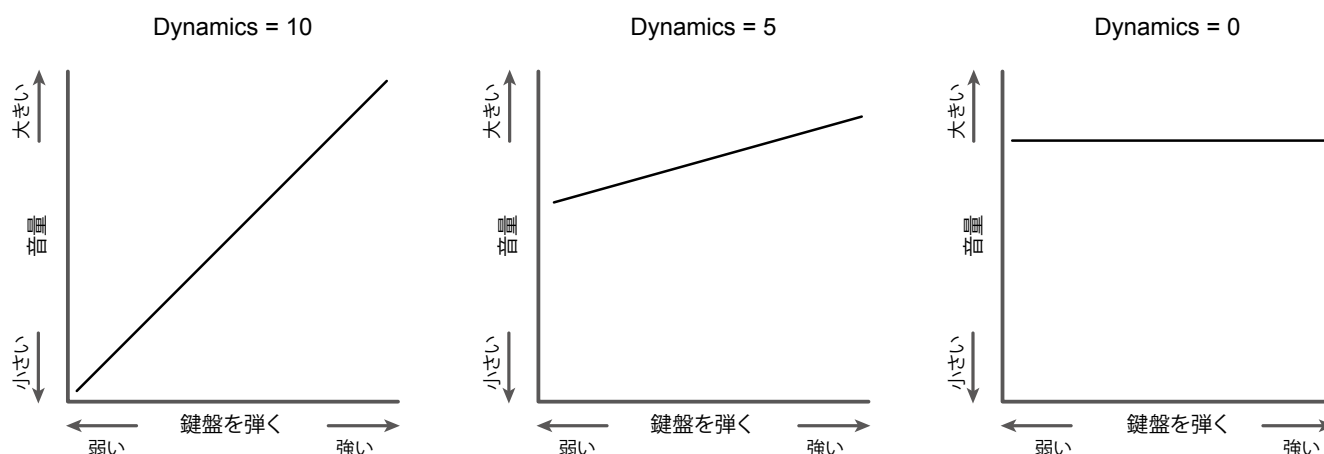
※このパラメーターは、E.PIANOセクションのみです。

7. Dynamics（ダイナミクス/SUB、MIDIセクション）

value: 0 (Off) - 10

SUB、MIDIセクションのタッチレスポンスを、PIANO、E.PIANOセクションに対して相対的に調整します。

バリューが10（初期値）の時、タッチレスポンスは通常のタッチカーブのままです。バリューを減少させていくと、ベロシティの変化幅が小さくなります。値をすると、タッチカーブは完全にフラットになり、ベロシティは固定されます。

※このパラメーターは、SUBセクションとMIDIセクションのみです。

8. Solo（ソロ/MIDIセクション）

Off/Last/Hi/Low

このパラメーターはソロ機能のON/OFFと、ソロ機能の演奏モードを指定します。

Last、Hi、Lowいずれかが選択されているとき、複数の鍵盤を同時に弾いても、演奏は1鍵のみに制限されます。

外部MIDI音源を使用して、モノフォニックシンセサイザーのキャラクターを効果的にシミュレートできます。

演奏モード	内容
Last	後に弾いたノート優先で発音します。
High	一番高いノート優先で発音します。
Low	一番低いノート優先で発音します。

※このパラメーターは、MIDIセクションのみです。

9. Transmit（トランスミット/MIDIセクション）

On/Off

このパラメーターはMP10が外部機器にMP10の鍵盤から、ノート・メッセージを送信するか（ON）、送信しないか（OFF）を設定します。

外部機器にキーボードを接続し、MIDIセクションはプログラム等のセットアップのみに使いたい場合は、OFFに設定して使用します。

※このパラメーターは、MIDIセクションのみです。

6 Controllers（コントローラー）

1. Damper Pedal（ダンパーペダル）

On/Off

接続したダンパーペダルがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

2. Left Pedal（レフトペダル）

On/Off

接続したレフトペダルがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

3. Damper Pedal Mode（ダンパーペダルモード）

2 types

ダンパーペダルモードを選択します。"Hold"に設定すると、ストリングス等の持続音は、減衰せずに発音を保持し続けることができます。

セッション	ダンパーペダルモード
PIANO	Normal/Hold
E.PIANO	Normal/Hold
SUB	Normal/Hold

※このパラメーターは、MIDIセクションにはありません。

4. Left Pedal Mode（レフトペダルモード）

Soft/Sostenuto

付属の2本ペダルF-20のレフトペダルの機能をソフトペダルかソステヌートペダルにするかを選択します。

また、MIDIセクションでは、コントロールチェンジとアフタータッチのメッセージを割り当てることができます。

値	内容
Soft	レフトペダルがソフトペダルになります。（初期値）
Sostenuto	レフトペダルがソステヌートペダルになります。

※ソステヌートの減衰の効果は、ダンパーペダルで設定された効果が掛かります。ダンパーペダル・モードを"Hold"に設定した場合、ストリングス等などの持続音は減衰せずに発音を保持し続けます。

※このパラメーターは3つの内部音色セクション全てに共通になります。

5. Pitch Bend Wheel（ピッチベンドホイール）

On/Off

ピッチベンドホイールがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

6. Pitch Bend Wheel Range（ベンドレンジ）

value: 0 - 7 or 0 - 12

ベンダーを動かしたときの音程の変化範囲を半音単位で指定します。

変化範囲の最大値は、インターナル・セクション（0~7）とMIDIセクション（0~12）で異なります。

7. Modulation Wheel（モジュレーションホイール）

On/Off

モジュレーションホイールがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

8. Modulation Wheel Assign（モジュレーションホイールアサイン）

PIANO/SUB: 11 functions　E.PIANO: 14 functions　MIDI: 0 - 119, aft

モジュレーションホイールの機能を選択します。また、MIDIセクションでは、コントロールチェンジとアフタータッチのメッセージを割り当てることができます。

※割り当てられる機能は下の表を参照してください。

※このパラメーターは3つの内部音色セクション全てに共通になります。

9. Expression Pedal（エクスプレッションペダル）

On/Off

エクスプレッションペダルがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

※ペダルの接続についての詳細は18 ページを参照してください。

10. Expression Pedal Assign（エクスプレッションペダルアサイン）

PIANO/SUB: 11 functions　E.PIANO: 14 functions　MIDI: 0 - 199, aft

エクスプレッションペダルの機能を選択します。また、MIDIセクションでは、コントロールチェンジとアフタータッチのメッセージを割り当てることができます。

※割り当てられる機能は下の表を参照してください。

※このパラメーターは3つの内部音色セクション全てに共通になります。

11. Foot Switch（フットスイッチ）

On/Off

フットスイッチがそのセクションに効くか効かないかを設定します。

※ペダルの接続についての詳細は18 ページを参照してください。

12. Foot Switch Assign（フットスイッチアサイン）

PIANO/SUB: 11 functions　E.PIANO: 14 functions　MIDI: 0 - 199, aft

フットスイッチの機能を選択します。また、MIDIセクションでは、コントロールチェンジとアフタータッチのメッセージを割り当てることができます。

※割り当てられる機能は下の表を参照してください。

※このパラメーターは3つの内部音色セクション全てに共通になります。

モジュレーションホイール、エクスプレッションペダル、フットスイッチに割り当て可能な機能

PIANO/E.PIANO/SUB sections
Modulation
Panpot
Expression
Damper
Sostenuto
Soft
Resonance
Cut off

PIANO/SUB sections only
EFX Dry/Wet
EFX Parameter 1
EFX Parameter 2

E.PIANO section only
EFX1 Dry/Wet
EFX1 Parameter 1
EFX1 Parameter 2
EFX2 Dry/Wet
EFX2 Parameter 1
EFX2 Parameter 2

7 Knob Assign（ノブアサイン）

通常の演奏モードでの[A][B][C][D]の４つのコントロールノブに、エディットメニューのパラメーターを割り当てることができ、必要なパラメーターを演奏中リアルタイムにコントロールすることができます。

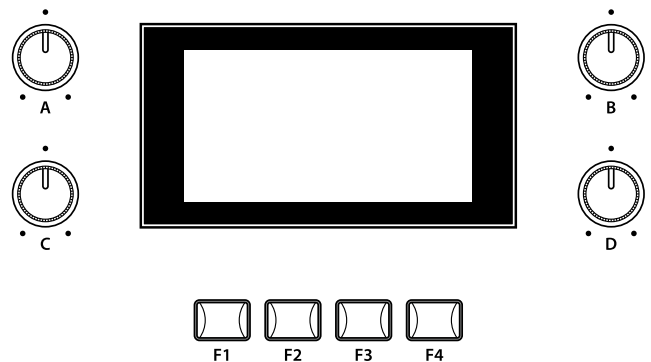
ノブアサインは、各セクション毎に２つのパラメーターグループを持っており、演奏中４×２＝８パラメーターまでのコントロールを可能にします。

ノブにパラメーターを割り当てる

目的のセクションのノブアサイン画面へ入ります。

４つのコントロールノブを回して、演奏モードでコントロールしたいエディットモードのパラメーターを割り当てます。
（41 ページの「内部音色セクション」参照）

※[CURSOR▲][CURSOR▼]ボタンを押して、第1、第2のノブグループを選ぶことができます。

※演奏モードでのパラメーター調整は21 ページの「2ディスプレイ/コントロール・ノブ」を参照してください。

8 Sound Edit（サウンドエディット）

1. Attack Time（アタックタイム）

value: –64 -+63

音の立ち上がりの時間を調整します。値を大きくすると、立ち上がり時間が長くなり、音色のアタックが遅くなります。

2. Decay Time（ディケイタイム）

value: –64 -+63

アタック後サスティーンのレベルまでの音量が下がる時間を調整します。

3. Sustain Level（サスティンレベル）

value: –64 -+63

鍵盤を押さえている間に到達する音量レベルを調整します。

4. Release Time（リリースタイム）

value: –64 -+63

鍵盤を放してから、音が消えるまでの時間を調整します。

5. Filter Resonance（レゾナンス）

value: –64 -+63

カットオフ周波数周辺の倍音の量を調整します。

6. Filter Cut-off（カットオフ）

value: –64 -+63

カットオフ周波数を調整します。値を大きくすると、サウンドが明るくなり、値を小さくすると、こもったサウンドになります。

7. Panpot（パンポット）

value: L64 - R63

ステレオの音像の中での左右の定位を調整します。

8. Volume（ボリューム）

value: 0 - 127

目的の音色の音量を設定します。このパラメーターは、ボリュームフェーダーと独立して効きます。

MIDIパラメーター

1 Program（プログラム）

1. Program（プログラム）

value: 0 - 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムナンバー値を設定します。

外部MIDI機器で選択したい音色に対応したプログラム番号を選択してください。

設定した値を各セットアップに保存します。
（55 ページの「2 STORE SETUP（ストアセットアップ）」参照）

2. Bank MSB/LSB（バンク）

value: 0 - 127, 0 - 127

セットアップが呼び出されたとき、送信されるプログラムバンクナンバー値の上位（MSB）と下位（LSB）を設定します。

MIDI規格は128のプログラム番号を用意していますが、バンク番号により、そのスペースを拡張することができます。

※バンク、プログラム番号の詳細については、接続されたMIDI機器の取扱説明書を参照してください。

2 Transmit（送信/システムパラメーター）

このパラメーターグループは、MP10のシステム全体への設定となります。これらのパラメーターは、セットアップに保存する必要はありません。エディットメニューを抜けるときに自動的に保存されます。

1. Send Program（プログラムセットアップ送信）

On/Off

セットアップを選択したとき、プログラム・チェンジを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器の音色を変更したい場合は、このパラメーターをOnにしてください。

2. Send Bank（バンクセットアップ送信）

On/Off

セットアップを選択したとき、バンク番号（MSB,LSB）を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

プログラム・チェンジ送信する際、外部MIDI機器のバンクを変更したい場合は、このパラメーターをOnにしてください。

3. Send Volume（ボリュームセットアップ送信）

On/Off

セットアップを選択したとき、ボリューム・メッセージを送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

セットアップを選択して外部MIDI機器のボリュームを変更したい場合は、このパラメーターをOnにしてください。

※このパラメーターをOffに設定していても、MIDIセクションのボリューム・フェーダーを動かしたときはボリュームメッセージが送信されます。

4. Send Knobs（ノブセットアップ送信）

On/Off

セットアップを選択したとき、コントロール・ノブの設定を送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

※このパラメーターをOffに設定していても、MIDIセクションのコントロールノブを動かしたときは各メッセージが送信されます。

5. Transmit Recorder（レコーダー再生送信）

On/Off

MIDIレコーダーの再生内容をMIDI送信するか（On）、送信しないか（Off）を設定します。

3 Receive (受信/システムパラメーター)

このパラメーターグループは、MP10のシステム全体への設定となります。これらのパラメーターは、セットアップに保存する必要はありません。エディットメニューを抜けるときに自動的に保存されます。

1. Receive Mode (受信モード)

Panel/Section

MP10がMIDIデータをどのように受信するかを設定します。

値	受信モード
Panel	MIDI情報をシステム・チャンネル (p.73参照) で受信し、パネル全体をコントロールします。
Section	MIDI情報を各セクションの受信チャンネルで受信し、セクション毎に独立してコントロールします。

2. Piano Channel (PIANOチャンネル)

value: 1ch - 16ch

受信モードが"Section"に設定されているときのPIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

3. E.PIANO Channel (E.PIANOチャンネル)

value: 1ch - 16ch

受信モードが"Section"に設定されているときのE.PIANOセクションの受信チャンネルを設定します。

4. SUB Channel (SUBチャンネル)

value: 1ch - 16ch

受信モードが"Section"に設定されているときのSUBセクションの受信チャンネルを設定します。

4 MMC (エムエムシー/システムパラメーター)

このパラメーターグループは、MP10のシステム全体への設定となります。これらのパラメーターは、セットアップに保存する必要はありません。エディットメニューを抜けるときに自動的に保存されます。

1. MMC Dev. ID (MMCデバイスID)

value: 0 - 127

MMC (MIDIMachineControl) のデバイスIDを決定します。

2. MMC Commands (MMCコマンド)

16 commands

MMCやリアルタイムコマンドを6つのレコーダーコントロールボタンに割り当てます。

割り当て可能なコマンド	
Not Assigned	0A: EJECT
01: STOP	0B: CHASE
02: PLAY	0C: COMMAND ERROR RESET,
03: DEFERRED PLAY	0D: MMC RESET
04: FAST FORWARD	FA: RealtimeSTART
05: REWIND	FB: RealtimeCONTINUE
06: RECORD STROBE	FC: RealtimeSTOP
07: RECORD EXIT	
08: RECORD PAUSE	
09: PAUSE	

ストアボタン

エディットメニューとコントロールノブを使って調整した音色の設定は、[STORE（ストア）]ボタンで内部メモリーに保存できます。

他の音色を選択したり、電源OFFを行うと、調整した音色の設定は失われてしまいますので、必要な設定は[STORE]ボタンを使って保存してください。

[STORE]ボタンには、各音色毎の設定（SOUND）、パネル全体の設定（SETUP）、電源オン時のパネルの設定（POWERON）のそれぞれを保存する3つの機能があります。

[STORE]ボタンの機能

機能名	内容
SOUND	各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の（コモンパラメーターを除く）エディットメニューの設定を保存します。
SETUP	選択したセットアップメモリーへ、システムパラメーターを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。
POWERON	電源オン時の設定として、システムパラメーターを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

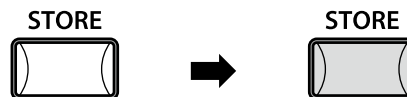
※コモンパラメーターを除く

1 STORE SOUND（ストアサウンド）

各セクションのバリエーションボタンへ、選択している音色の（コモンパラメーターを除く）エディットメニューの設定を保存します。

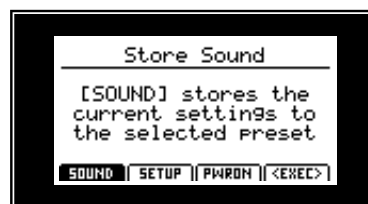
STORE（ストア）画面へ入る

[STORE] ボタンを押してボタンを点灯させせます。

ディスプレイに STORE（ストア）画面が表示されます。

STORE SOUND（ストアサウンド）機能を選ぶ

[F1]（SOUND）ボタンを押して STORE SOUND（ストアサウンド）機能を選びます。

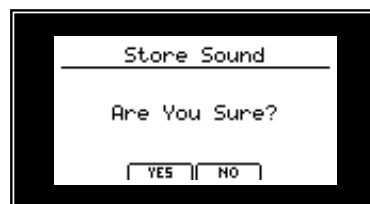
[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

※MIDIセクションが選ばれている場合は、[F1]（SOUND）ボタンは表示されません。

STORE SOUND（ストアサウンド）を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、選択したセクションのサウンドに保存されます。

[-/NO] ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

※保存を実行すると、それまでの音色の設定は上書きされますのでご注意ください。

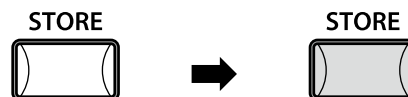
※内部メモリーへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

2 STORE SETUP（ストアセットアップ）

選択したセットアップ・メモリーへ、システムパラメーターを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

初期画面でPIANO、E.PIANO、SUBのいずれかを[F1][F2][F3]ボタンで選んでください。

STORE（ストア）画面へ入る

[STORE] ボタンを押してボタンを点灯させせます。

ディスプレイに STORE（ストア）画面が表示されます。

STORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選ぶ

[F2]（SETUP）ボタンを押して STORE SETUP（ストアセットアップ）機能を選びます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイにセットアップ名編集画面が表示されます。

セットアップ名を編集し、保存先を指定する

[A][B] ノブを使って、セットアップ名を編集します。

[BANK◀][BANK ▶] ボタンと [1] ～ [6] のセットアップメモリーボタンを押して、新しいセットアップのメモリーを選びます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

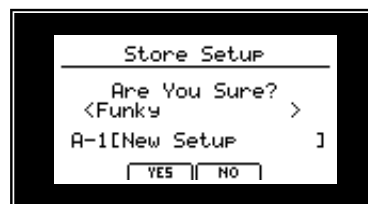
ストアボタン／セットアップ

STORE SETUP（ストアセットアップ）を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

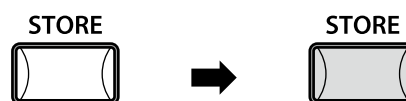
※保存を実行すると、それまでのセットアップ設定は上書きされますのでご注意ください。

※内部メモリーへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

3 STORE POWER ON（ストアパワーオン）

電源オン時の設定として、システムパラメーターを除く全てのエディットメニューの設定と、音色セクションのボタン・ノブ状態、EQの設定を保存します。

STORE（ストア）画面へ入る

[STORE] ボタンを押して、ボタンを点灯させせます。

ディスプレイに STORE（ストア）画面が表示されます。

STORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選ぶ

[F3]（POWERON）ボタンを押して STORE POWERON（ストアパワーオン）機能を選びます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

STORE POWERON（ストアパワーオン）を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、STORE（ストア）画面に戻ります。

※保存を実行すると、それまでのパワーオン設定は上書きされます。

※内部メモリーへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

セットアップメモリー

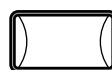
MP10は、156セットアップ（26×6）を本体のメモリーに保存することができます。

このページでは、バンクとセットアップメモリーを選択して、セットアップを呼び出す方法について説明します。

セットアップセクションをONにする

セットアップセクションの [ON/OFF] ボタンを押して点灯させます。

A-1 または、最後に選んだセットアップが自動的に呼び出されます。

セクション OFF　　　セクション ON

ON/OFF　➡　ON/OFF

セットアップを選ぶ

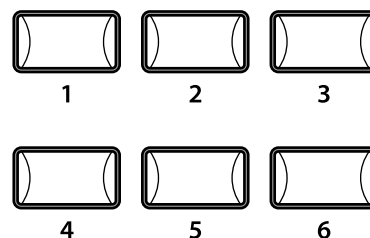
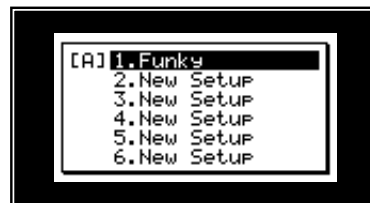
[BANK ◀][BANK ▶] ボタンを押して、セットアップのバンクを選びます。

※AからZまで26バンクがあります。

バンクを選ぶと、ディスプレイに選んだバンクのセットアップリストが表示されます。

セットアップ・リストが表示されている間に、目的のセットアップメモリーのボタンを押します。

ボタンを押すと目的のセットアップが呼び出されます。

※1バンクに、6 セットアップ保存されています。

レコーダーについて

MP10は自分の演奏を本体に録音したり、USB メモリー内に直接録音（保存）したりすることができます。

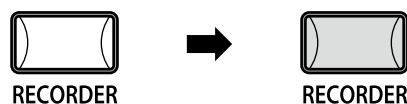
MP10レコーダー仕様

	MIDIレコーダー（内部メモリー）	オーディオレコーダー（USBメモリー）
保存フォーマット	SMF（MIDI）	MP3/WAV（オーディオ）
最大曲サイズ	約90,000音	（USBメモリーの容量による）
最大曲数	10ソング	（USBメモリーの容量による）
使用例	アイディア・スケッチ、パフォーマンスの録音、コンピューターでの編集	
	-	友人へのe-mail送信、オーディオCD作成
再生方法	MP10本体で再生/外部MIDI機器で再生	MP10本体で再生/オーディオプレイヤー等で再生
テンポ調整	有	無
オーバーダビング	無	有
変換選択	MP3/WAVに変換録音可	SMF（MIDI）に変換不可※

※MP3/WAVデータからSMF（MIDI）変換はできません。

レコーダー画面へ入る

[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

レコーダーモードを選ぶ

[F1] ボタンを押して、MIDI レコーダーと、オーディオレコーダーを切り替えます。

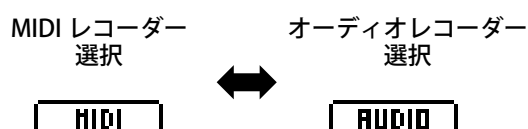
※USBメモリーが接続されていないと、オーディオレコーダーは選択されません。

MIDI レコーダー
選択

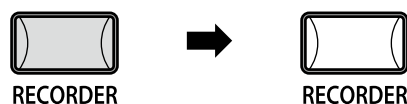
MIDI

↔

オーディオレコーダー
選択

AUDIO

レコーダー画面を抜ける

[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

レコーダー機能が OFF になり、ディスプレイが通常の演奏画面に戻ります。

USBファンクション

USB メモリーに保存されたファイルの消去（Delete）やファイル名変更（Rename）は、USB メニューで行うことができます。（74 ページの「USB メニューについて」参照）

MIDIレコーダー

MP10のMIDIレコーダーは本体の内部メモリーに10曲（10ソング）まで録音することができます。

また、録音した曲はSMF（Standard MIDI File）としてUSBメモリーに保存したり、MP3/WAV形式に変換録音することができます。

1 内部メモリーに録音する

1. MIDIレコーダー画面へ入る

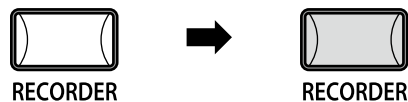
[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

もし USB メモリーが接続されていたら、[F1]（MIDI）ボタンを押して、MIDI レコーダーを選びます。

[C]ノブを回して、新しく録音するソングメモリーを選びます。

※10曲の内部メモリーが用意されています。

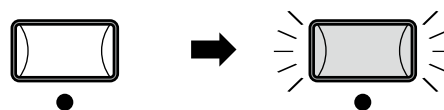
※もし、選択したソングメモリーにすでに何か録音されていた場合は、自動的に消去され、新たなデータが録音されます。

2. 録音をスタートする

[REC ●] ボタンを押します。

[REC ●] ボタンが点滅し、レックスタンバイ状態を示します。

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき[REC ●] ボタンと[PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンが点灯します。

※録音待機状態から、[PLAY/STOP▶/■]ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

※[METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

3. 録音をストップする

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押します。

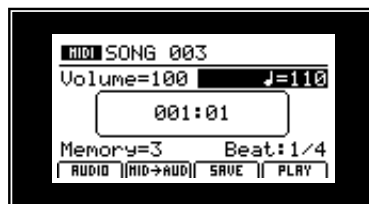
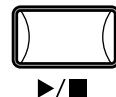
[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶/■] ボタンが消灯し録音が終了します。

この時、録音したデータは自動的に内蔵メモリーに保存され、その後再生画面が表示されます。

※内部メモリーへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

※MP10の総記憶容量は、約90,000音です。

※録音中に記憶容量がいっぱいになったときは[REC●]ボタンと[PLAY/STOP▶/■]ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

※レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。

2 MIDIソングを再生する

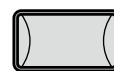
内部メモリーに保存されたMIDIソングを再生します。録音直後に再生する場合は、2 より行ってください。

1. MIDIレコーダー画面に入る

[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

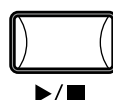
レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにレコーダー画面が表示されます。

もし USB メモリーが接続されていたら、[F1] (MIDI) ボタンを押して、MIDI レコーダーを選びます。

[C] ノブを回して、再生するソング・メモリーを選びます。

2. 再生する

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すと、[PLAY/STOP ▶/■] ボタンが点灯し、再生がスタートします。

[◀◀][▶▶] ボタンで、早送り、巻き戻しができます。

[A][B] ノブでボリュームとテンポを調整します。

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すと再生が停止します。

[|◀] ボタンでデータの先頭に戻ります。

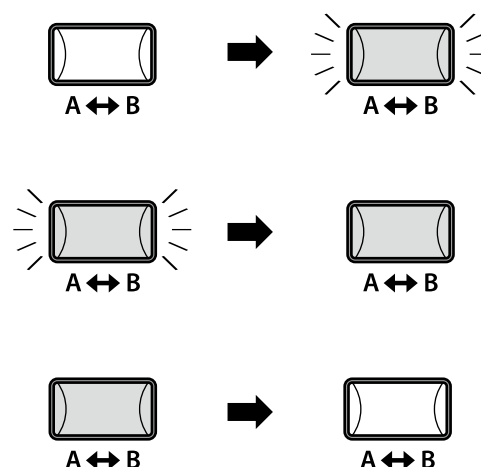
レコーダー

A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、ソングの一部を繰り返し連続再生することができます。

ソング再生中に [A-B] ボタンを押すと、リピート開始ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点滅します。

再度 [A-B] ボタンを押すと、リピート終了ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A-B] ボタンを押すと、[A-B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

3 SMF形式で保存する

録音したMIDIソングを、SMF（StandardMIDIFile）形式でUSBメモリーに保存再生します。

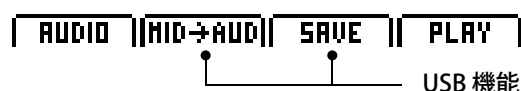
1. SAVE（セーブ）機能を選ぶ

59 ページに沿って MIDI ソングを録音し、USB メモリーを接続してください。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

メモリーが認識されると、[F2] ボタン（MID->AUD 機能）と [F3] ボタン（SAVE 機能）のアイコンがディスプレイに表示されます。

[F3]（SAVE）ボタンを押します。

SAVE（セーブ）画面がディスプレイに表示されます。

2. 保存するソングメモリーを選び、ファイル名を編集する

[C] ノブを使って、保存したいソングメモリーを選びます。

次に、[A][B] ノブを使って、ファイル名を編集します。

※ファイル名は最大18文字です。

※ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

3. SAVE（セーブ）を実行する

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、保存が実行されます。
[-/NO] ボタンを押すと、保存はキャンセルされます。

保存が終了すると、MIDI レコーダー画面へ戻ります。

4 オーディオ変換する

内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

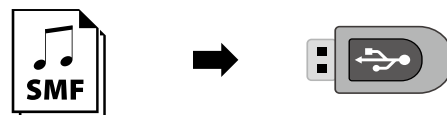
詳細は72 ページの「4 MIDIソングをオーディオ変換する」を参照してください。

5 SMFを内部メモリーへLOAD（ロード）する

USBメモリーのSMFを内部メモリーへLOAD（ロード）します。

USBメモリーの準備

まず、用意した SMF を USB メモリーへコピーします。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

1. LOAD（ロード）機能を選ぶ

MIDI レコーダー画面へ入ります。
（59 ページの「MIDI レコーダー」参照）

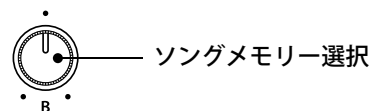
[B] ノブを使って、空きソングを選びます。もしくは、65 ページの手順に沿って、既存のソングを消去します。

その後、USB メモリーを接続してください。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

メモリーが認識されると、[F3] ボタン（LOAD 機能）のアイコンがディスプレイに表示されます。

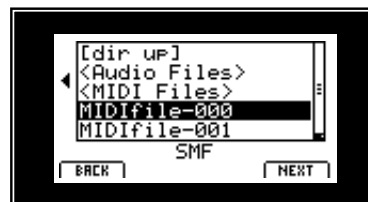
[F3]（LOAD）ボタンを押します。

USB メモリーのルートフォルダーのファイルリストがディスプレイに表示されます。

ファイル/フォルダー・リスト画面について

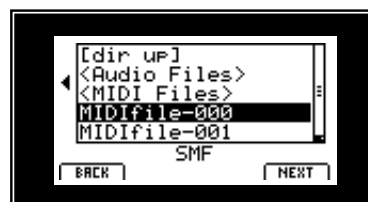
MP10 のファイル / フォルダーリスト画面は、USB メモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

- [A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

-（＜ _ ＞）はフォルダーを表します。

- ［dir up］は、親フォルダーを表します。

2. LOAD（ロード）するSMFを選ぶ

[A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使って目的の MIDI ファイルを選びます。

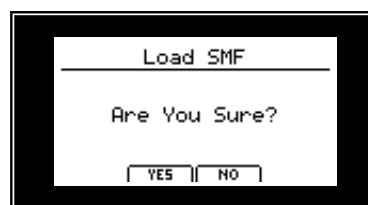
[F4]（NEXT）ボタンを押すと、SMF LOAD（ロード）画面が表示されます。

3. LOAD（ロード）するMIDIチャンネルを選ぶ

MP10 の MIDI レコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルに、SMF のどのチャンネルを使用するかを [C][D] ノブを使って指定します。

[F3]（LISTEN）ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

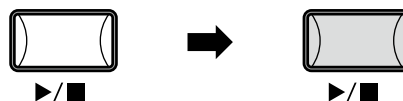
4. SMFをLOAD（ロード）する

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、選んだ SMF が内部メモリーへ LOAD（ロード）されます。

5. 再生する

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すと、[PLAY/STOP ▶/■] ボタンが点灯し、再生がスタートします。

[◀◀][▶▶] ボタンで、早送り、巻き戻しができます。

[A][B]コントロール・ノブでボリュームとテンポを調整します。

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すと再生が停止します。

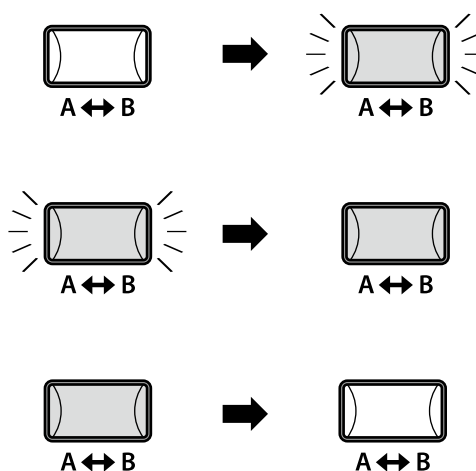
[|◀] ボタンでデータの先頭に戻ります。

A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、ソングの一部を繰り返し連続再生することができます。

ソング再生中に [A-B] ボタンを押すと、リピート開始ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点滅します。

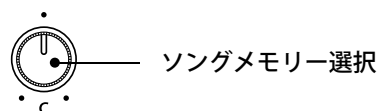
再度 [A-B] ボタンを押すと、リピート終了ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A-B] ボタンを押すと、[A-B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

6 内部メモリーを消去する

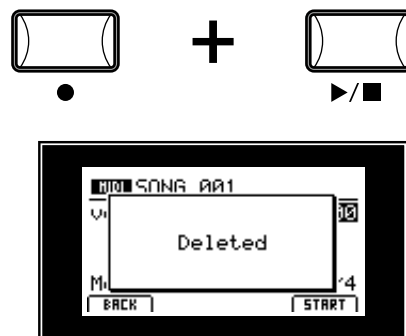
MP10本体の不要なソングを消去して、メモリーを空き状態にします。

1. 消去するソングメモリーを選ぶ

MIDI レコーダー画面へ入ります。
（59 ページの「MIDI レコーダー」参照）

[C]ノブを使って、消去したい内部ソングメモリーを選びます。

2. 選択したソングを消去する

[REC ●］ボタンと［PLAY/STOP ▶/■］ボタンを同時に押します。

ディスプレイにメッセージが表示され、選んだソングメモリーが消去されます。

すべてのソングメモリーを消去する

全てのソングメモリーを消去したい場合は、システムメニューのReset Recorder機能を使って消去します。
（84 ページの「4 Reset（リセット）」参照）

オーディオレコーダー

MP10はラインインも含めたパフォーマンスをMP３やWAV形式で、USBメモリーにデジタルオーディオデータとして録音することができます。他の録音機器を用意することなく楽器上でダイレクトに高品質のオーディオ録音ができ、バンドメンバーにメールで送ったり、オーディオプレイヤーで再生したり、ワークステーションで、リミックスしたりと、様々な使い方ができます。

オーディオ録音フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	192 kbit/s (fixed)
WAV	44.1 kHz, 16 bit, Stereo	1,411 kbit/s (uncompressed)

※MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson. MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

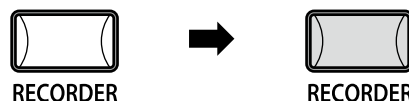
1 オーディオファイルに録音する

1. オーディオレコーダーに入る

USB メモリーを接続してください。

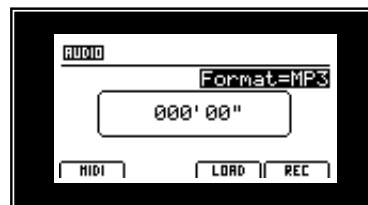
※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

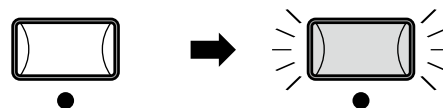
[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにオーディオレコーダー画面が表示されます。

2. ファイル形式を選ぶ

[B] ノブを使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。

※MP３形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。

※1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

3. 録音をスタートする

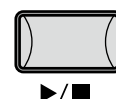
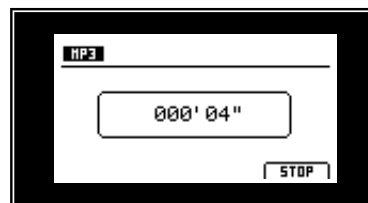
[REC ●] ボタンを押します。

[REC●]ボタンが点滅し、レックスタンバイ状態を示します。

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。

このとき［REC ●］ボタンと［PLAY/STOP ▶/■］ボタンが点灯します。

※録音待機状態から、[PLAY/STOP▶/■]ボタンを押すことでも、録音が開始できます。

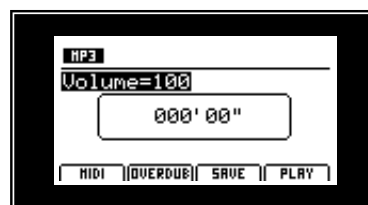
※[METRONOME]ボタンを点灯させると、1小節分のカウントイン後に録音が開始されます。

※メトロノームをガイドに録音する場合、オーディオ録音すると、メトロノーム音は録音されてしまいます。メトロノーム音を録音したくない場合は、一度MIDIレコーダーで録音してから、オーディオファイルに変換してください。

4. 録音をストップし、録音結果を試聴する

[PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押します。

[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンが消灯し録音が終了します。

再度 [PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押すと、録音結果を試聴できます。

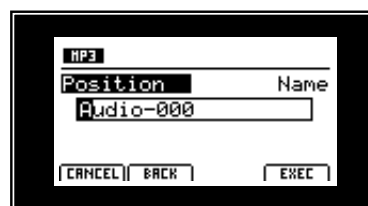
※オーディオ再生操作の詳細は、68 ページを参照してください。

5. ファイル名をつける

録音が終了すると、[F3] ボタン(SAVE 機能)のアイコンがディスプレイに表示されます。

[F3]（SAVE）ボタンを押すと、ディスプレイにオーディオファイルの SAVE（セーブ）画面が表示されます。

[A][B] ノブを使って、ファイル名を編集します。

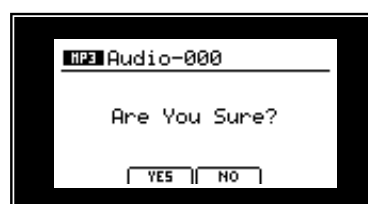
※ファイル名は最大18文字です。

※ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

6. オーディオファイルに保存する

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、保存はキャンセルされます。

保存が終了すると、オーディオレコーダーの画面へ戻ります。

MP10はUSBメモリーに保存されたMP３やWAV形式のオーディオファイルを再生できます。

本格的なバッキングトラックを鳴らしながら1人でパフォーマンスしたり、曲を聞いて、コードやメロディを聞き取る作業を行うときなどに便利です。

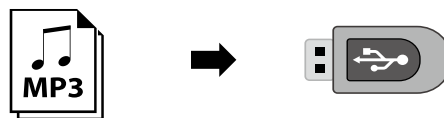
オーディオ再生フォーマット仕様

ファイル形式	仕様	ビットレート
MP3	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo	8-320 kbit/s (fixed & variable)
WAV	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, 8 bit/16 bit	-

※MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson. MP3 codec is Copyright (c) 1995-2007, SPIRIT

USBメモリーの準備

まず、用意した MP3 または WAV ファイルを USB メモリーへコピーします。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

2 オーディオファイルを再生する

1. オーディオレコーダーに入る

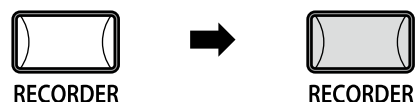
USB メモリーを接続してください。

[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにオーディオレコーダー画面が表示されます。

[F3] (LOAD) ボタンを押します。

USB メモリーのルートフォルダーのファイルリストがディスプレイに表示されます。

※[F2][F3]ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

ファイル/フォルダー・リスト画面

MP10 のファイル / フォルダーリスト画面は、USB メモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。

- [A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

- （＜ _ ＞）はフォルダーを表します。

- ［dir up] は、親フォルダーを表します。

2. LOAD（ロード）するオーディオファイルを選ぶ

[A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使って目的の MP3 ファイルを選びます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、LOAD（ロード）が実行され、オーディオプレイヤー画面が表示されます。

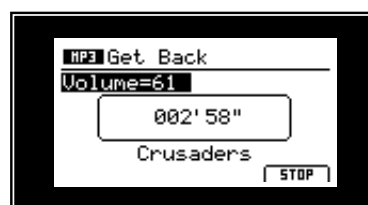
※ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。

3. 再生する

[PLAY/STOP ▶ / ■］ボタンを押すと、［PLAY/STOP ▶ / ■］ボタンが点灯し、再生がスタートします。

[◀◀][▶▶] ボタンで、早送り、巻き戻しができます。

[A] コントロール・ノブでボリュームを調整します。

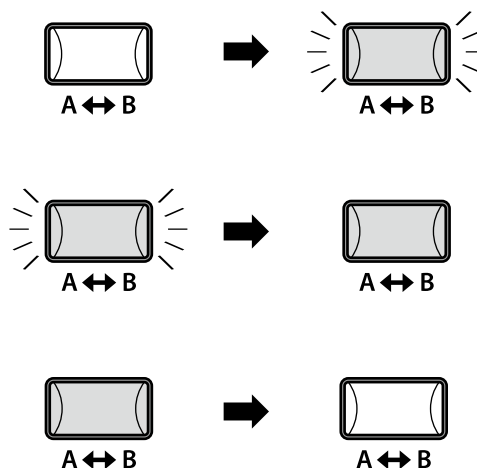
[PLAY/STOP ▶ / ■] ボタンを押すと再生が停止します。

[|◀] ボタンでデータの先頭に戻ります。

A-B リピート

A-B リピート機能を使うと、ソングの一部を繰り返し連続再生することができます。

ソング再生中に [A-B] ボタンを押すと、リピート開始ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点滅します。

再度 [A-B] ボタンを押すと、リピート終了ポイントが指定され、[A-B] ボタンが点灯して指定された区間が繰り返し再生されます。

A-B リピートで繰り返し再生されているとき、再度、[A-B] ボタンを押すと、[A-B] ボタンが消灯して繰り返し再生が解除されます。

3 オーバーダビングする

MP10上で直接既存のオーディオのファイルに追加録音し、簡単なマルチトラック録音を行うことができます。ピンポン録音の要領で録音しますので、オーバーダビングの回数に制限はありません。

またオーバーダビング録音では、毎回一時的にファイルが作成されますので、一度保存したファイル、既存のオーディオファイルが修正されることはありません。

※最終的に保存作業を行っていないと、そのときの録音結果は次のオーバーダビング録音で失われますのでご注意ください。

1. オーディオレコーダーに入る

USB メモリーを接続してください。

[RECORDER] ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

レコーダー機能が ON になり、ディスプレイにオーディオレコーダー画面が表示されます。

[F3]（LOAD）ボタンを押します。

USB メモリーのルートフォルダーのファイルリストがディスプレイに表示されます。

※[F2][F3]ボタンで、MP3とWAVフォーマットを切り換えることができます。

2. オーバーダビングしたいファイルを選ぶ

[A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使って目的の MP3 ファイルを選びます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、LOAD（ロード） が実行され、オーディオプレイヤー画面が表示されます。

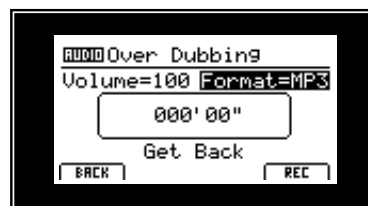
※ID3タグなどのメタデータを持っている場合は、その曲名/アーティスト名が表示されます。

3. オーバーダビングモードへ入る

[F2] (OVERDUB) ボタンを押します。

オーバーダビング画面が表示されますので、[B] ノブを使って、目的のオーディオファイル形式を選びます。

※MP3形式は、WAV形式に比べ、メモリーの容量を必要としません。

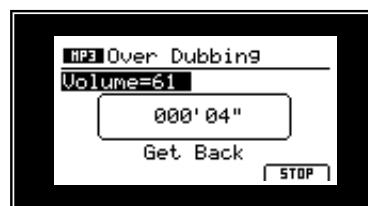
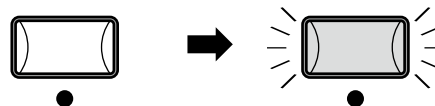
※1Gバイトのメモリーの場合、MP3形式で12時間を越える録音ができます。

4. オーバーダビング録音をスタートする

[REC ●] ボタンを押します。

[REC ●] ボタンが点滅し、レックスタンバイ状態を示します。

必要に応じて、[A] ノブで再生ファイルの音量を調整します。

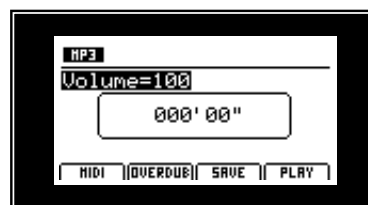
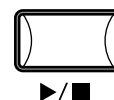
演奏を始めると自動的にオーバーダビングがスタートします。このとき [REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶/■] ボタンが点灯します。

※録音待機状態から、[PLAY/STOP▶/■]ボタンを押すことでも、オーバーダビングを開始できます。

5. オーバーダビング録音をストップし、録音結果を試聴する

[PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押します。

[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶/■] ボタンが消灯しオーバーダビングが終了します。

再度 [PLAY/STOP ▶/■] ボタンを押すと、録音結果を試聴できます。

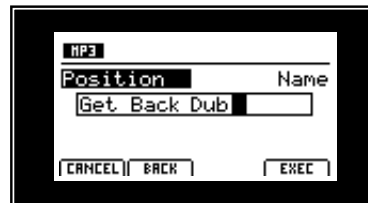
また、[F2] (OVERDUB) ボタンを押すと、オーバーダビングした一時ファイルにさらに重ねて録音することができます。

6. ファイル名をつける

録音が終了すると、[F3] ボタン(SAVE 機能)のアイコンがディスプレイに表示されます。

[F3] (SAVE) ボタンを押すと、ディスプレイにオーディオファイルの SAVE (セーブ) 画面が表示されます。

[A][B] ノブを使って、ファイル名を編集します。

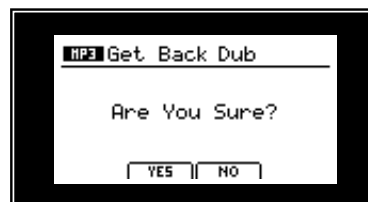
※ファイル名は最大18文字です。

※ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

7. オーディオファイルに保存する

[F4] (EXEC) ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、保存が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、保存はキャンセルされます。

保存が終了すると、オーディオレコーダーの画面へ戻ります。

4 MIDIソングをオーディオ変換する

内部メモリーに録音されたMIDIソングをMP3/WAV形式に変換しながら、USBメモリーへ録音することができます。

1. MIDIレコーダーに入り、”MIDI to AUDIO”機能を選ぶ

59 ページに沿って MIDI ソングを録音し、USB メモリーを接続してください。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

メモリーが認識されると、[F2] ボタン (MID->AUD 機能) と [F3] ボタン (SAVE 機能) のアイコンがディスプレイに表示されます。

[F2] (MID → AUD) ボタンを押します。

※”MIDI to AUDIO”機能の画面がディスプレイに表示されます。

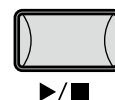
レコーダー

2. オーディオフォーマットを選び、変換録音をスタートする

[B] ノブを使って目的のオーディオフォーマットを選び、[REC ●] ボタンを押します。

[REC●]ボタンが点滅し、レックスタンバイ状態を示します。

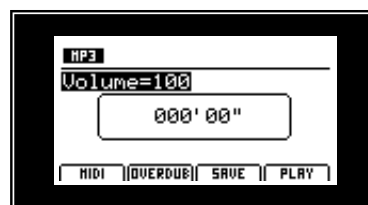
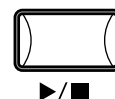
[PLAY/STOP ▶ / ■］ ボタンを押すと、変換録音がスタートします。 このとき［REC ●］ ボタンと［PLAY/STOP ▶ / ■］ボタンが点灯します。

※このとき鍵盤を弾くと、鍵盤の演奏音も同時にオーディオ録音されます。

3. 変換録音をストップし、録音結果を試聴する

[PLAY/STOP ▶/ ■] ボタンを押します。

[REC ●] ボタンと [PLAY/STOP ▶/ ■] ボタンが消灯し変換録音が終了します。

再度 [PLAY/STOP ▶/ ■] ボタンを押すと、録音結果を試聴できます。

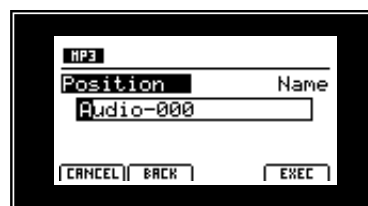
※オーディオ再生操作の詳細は、68 ページを参照してください。

4. ファイル名をつける

録音が終了すると、[F3] ボタン(SAVE 機能)のアイコンがディスプレイに表示されます。

[F3] （SAVE） ボタンを押すと、ディスプレイにオーディオファイルの SAVE （セーブ） 画面が表示されます。

[A][B] ノブを使って、 ファイル名を編集します。

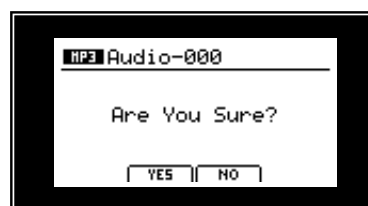
※ファイル名は最大18文字です。

※ファイルはUSBメモリーのルートフォルダーに保存されます。異なるフォルダーへは保存できません。

5. オーディオファイルを保存する

[F4] （EXEC） ボタンを押すと、 ディスプレイに確認画面が表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、 保存が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、 保存はキャンセルされます。

保存が終了すると、オーディオレコーダーの画面へ戻ります。

USBメニューについて

USBメモリーに、音色、セットアップ、システム設定、ソングの読み込み／保存を行うことができます。また、ファイル名の変更やファイルの削除、USB メモリーのフォーマットを行うことができます。

ファイルの種類

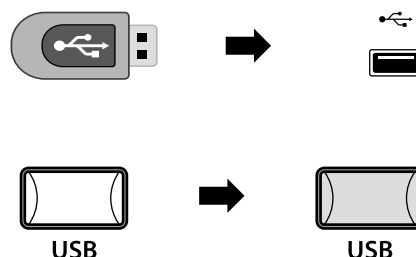
ファイルの種類	説明	拡張子
One Sound	サウンド設定のバックアップ	.km5
One Setup	セットアップ設定のバックアップ	.km6
SMF	SMF形式のMIDIソングファイル	.mid
Song	MP3/WAV形式のオーディオソングファイル	.mp3, .wav, .mid
All Sound	全音色のサウンドパラメーターのバックアップ	.km2
All Setup	全セットアップメモリーのバックアップ	.km3
All Backup	全セットアップメモリー、全音色のサウンドパラメーター、システム設定のバックアップ	.km4

USBメニューへ入る

USB メモリーを接続してください。

※USBメモリーは、FAT又は、FAT32でフォーマットされているものを使用してください。

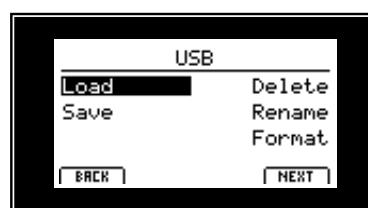
[USB] ボタンを押します。

[USB] ボタンが点灯し、ディスプレイに USB メニューリストが表示されます。

USBメニュー選択画面

[CURSOR] ボタンを押して、目的のファイル操作のカテゴリーを選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

次に [CURSOR] ボタンで、目的のファイルの種類を選び、[F4] (NEXT) ボタンを押します。

[-/NO] または [F1] (BACK) ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

USB
Load　Delete
Save　Rename
Format
BACK　NEXT

ファイル/フォルダー・リスト画面

MP10 のファイル / フォルダーリスト画面は、USB メモリーに保存されているファイルとフォルダーをリスト表示します。[F4] (EXEC) ボタンを押すと、各処理が実行されます。

- [A]ノブまたは、[CURSOR▲][CURSOR▼]ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。
- (<_>) はフォルダーを表します。
- [dir up]は、親フォルダーを表します。

Load（ロード）機能は、内部メモリーに保存されている既存のデータに上書きをします。また、Delete（デリート）機能、Format（フォーマット）機能は、接続した USB メモリーの内容を消してしまいます。これらの機能を使うときは、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1 Load（ロード/読込）

USBメモリーに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングを読み込みます。LoadSMF（ロードSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

1. Load One Sound（ロードワンサウンド）

USBメモリーに保存されたサウンドファイルを読み出して、内部メモリーの音色のプリセット設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のサウンドファイルを選択してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

※読み出し後、サウンドは自動的に選ばれます。その他のセクションはキャンセルされます。セットアップもキャンセルされます。

2. Load One Setup（ロードワンセットアップ）

USBメモリーに保存されたセットアップメモリーを読み出して、内部メモリーのセットアップ設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のセットアップファイルを選択してください。

転送先のセットアップメモリーを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

最後に[F2][F3]ボタンで確定またはキャンセルを選択します。

※読み出し後、セットアップは自動的に選ばれます。

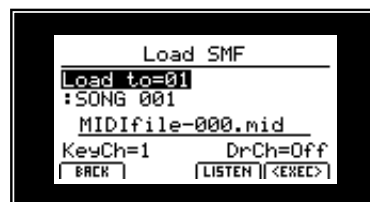
3. Load SMF（ロードSMF）

USBメモリーに保存されたSMF形式のソングファイルを読み出して、MIDIレコーダーのソングメモリーを書き換えます。
この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のSMFを選択してください。

選択後、MP10のMIDIレコーダーの鍵盤チャンネルとドラムチャンネルにSMFのどのチャンネルを使用するかを[C][D]ノブを使って指定します。また[A]ノブを使って書き込み先の内部ソングメモリーを選びます。

[F3]（LISTEN）ボタンを押すと、現在のチャンネル設定を試聴することができます。

[F4]（EXEC）ボタンを押すと、選んだSMFが内部メモリーへLoad（ロード）され、MIDIレコーダー画面が表示されます。

※MIDIレコーダーの詳細は、59 ページを参照してください。

4. Load AllSound（ロードオールサウンド）

USBメモリーに保存されたオールサウンドファイルを読み出して、全音色のサウンド設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のオールサウンドファイルを選択してください。

5. Load AllSetup（ロードオールセットアップ）

USBメモリーに保存されたオールセットアップファイルを読み出して、全てのセットアップメモリーを書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のオールセットアップファイルを選択してください。

6. Load AllBackup（ロードオールバックアップ）

USBメモリーに保存されたオールバックアップファイルを読み出して、全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリー、システム設定を書き換えます。

この機能を選択後、ファイル/フォルダーリストから、目的のオールバックアップファイルを選択してください。

2 Save（セーブ/保存）

内部メモリーに保存された、音色、セットアップ、システム設定、ソングをUSBメモリーに書き込みます。

SaveSMF（セーブSMF）機能を除いて、各操作方法は同じです。

1. Save One Sound（セーブワンサウンド）

現在のサウンド設定をUSBメモリーに保存します。

※MIDIセクションが選ばれていれば、自動的に現在のPIANOセクションが保存されます。

この機能を選択後、保存するサウンドの確認画面が表示されます。

さらに[A][B]ノブを使ってサウンドファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

2. Save One Setup（セーブワンセットアップ）

MP10のセットアップ設定をUSBメモリーに保存します。

この機能を選択後、保存するセットアップの確認画面が表示されます。

保存したいセットアップメモリーを指定するために、[BANK]ボタンと[SETUP]ボタンを押してください。

さらに[A][B]ノブを使ってセットアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

3. Save SMF（セーブSMF）

MIDIレコーダーのソングメモリーの内容を、SMF形式でUSBメモリーに保存します。

この機能選択後、[C]ノブを使って、保存したいソングメモリーを選択します。

さらに、[A][B]ノブを使ってシステムファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

※MIDI レコーダーの詳細は、59 ページを参照してください。

Save SMF
Position Name
MIDIfile-001
Memory=2
SONG 002
BACK EXEC

4. Save AllSound（セーブオールサウンド）

MP10の全音色のサウンド設定をUSBメモリーに保存します。

この機能を選択後、[A][B]ノブを使ってオールサウンドファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

5. Save AllSetup（セーブオールセットアップ）

MP10の全てのセットアップメモリーの内容をUSBメモリーに保存します。

この機能を選択後、[A][B]ノブを使ってオールセットアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

6. Save AllBackup（セーブオールバックアップ）

全音色のサウンド設定、全てのセットアップメモリー、システム設定を、USBメモリーに保存します。

この機能を選択後、ノブを使ってオールバックアップファイルに名前をつけ、[F4]（EXEC）ボタンを押します。

3 Delete（デリート/削除）

USBメモリーに格納されているファイルを削除します

接続されたＵＳＢメモリーからデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

1. 削除したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

2. 削除したいファイルを選ぶ

[A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

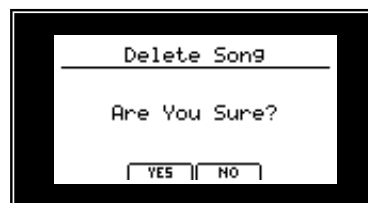
[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. ファイルを削除する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。

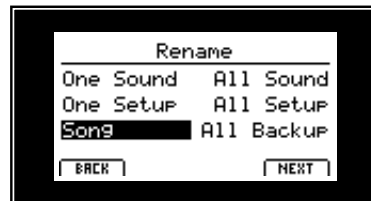
[-/NO] ボタンを押すと、削除はキャンセルされます。

ファイル削除が終了すると、USB メニュー画面へ戻ります。

4 Rename（リネーム/ファイル名変更）

USB メモリーに格納されているファイル名を変更します。

1. 変更したいファイルの種類を選ぶ

[CURSOR] ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選び、[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

2. 変更したいファイルを選ぶ

[A] ノブまたは、[CURSOR ▲][CURSOR ▼] ボタンを使ってカーソルを動かして、ファイルを選択します。

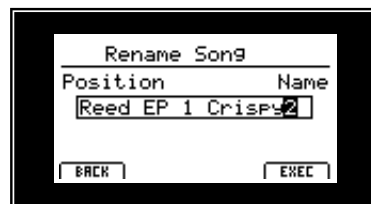
[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. ファイル名を編集する

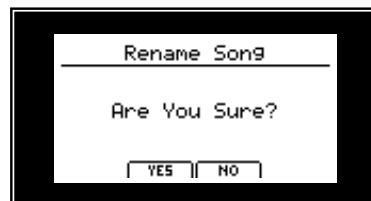
[A][B] ノブを使って、ファイル名を編集します。

[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンを押すと、ディスプレイに確認画面が表示されます。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

4. ファイル名変更を実行する

[+/YES] ボタンを押すと、ファイル名変更が実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、ファイル名変更はキャンセルされます。

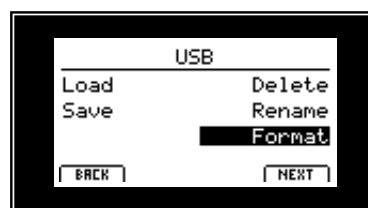
ファイル名変更が終了すると、USBメニュー画面へ戻ります。

5 Format（フォーマット/初期化）

USBメモリーを初期化して、格納されているデータをすべて消去します。

接続された USB メモリーに格納されている全てのデータを消してしまいますので、必要なデータを消してしまわないように十分注意してください。

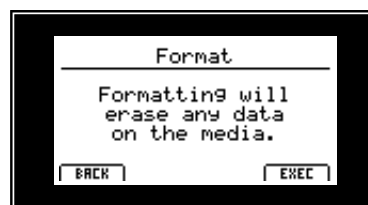
1. フォーマット機能を選択する

[CURSOR] ボタンを押して、フォーマット機能を選択し、
[F4]（NEXT）ボタンを押します。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

2. メッセージを確認する

最初の確認画面がディスプレイに表示されます。

メッセージを確認し、[+/YES] または [F4]（EXEC）ボタンをすと、次の確認画面に進みます。

[-/NO] または [F1]（BACK）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

3. フォーマットを実行する

最終確認の画面がディスプレイに表示されます。

[+/YES] ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

[-/NO] ボタンを押すと、フォーマットはキャンセルされます。

フォーマットが終了すると、USB メニュー画面へ戻ります。

システムメニューについて

[SYSTEM] ボタンでは、MP10の全体にかかわる基本設定を行います。

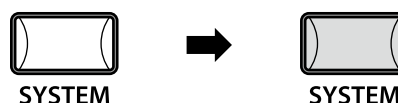
パラメーターはカテゴリーごとにまとめられており、目的のパラメーターへのアクセスが容易です。
変更した値は自動的に内部に保存されますので、電源を入れる度に設定する必要はありません。

システムメニュー・パラメーター

カテゴリー	パラメーター
Utility	System Tuning, System Channel, Line-in Level, Volume Fader Action, LED Brightness,
	Out Mode, LCD Reverse, LCD Contrast, Foot Switch Mode, Effect SW Mode, Lock Mode
Offset	EQ Offset ON/OFF, EQ Offset Hi/Mid/Lo, Reverb Offset
User	User Touch Curve, User Temperament
Reset	Reset One Sound, Reset One Setup, Reset System, Reset Recorder,
	Reset All Sound, Reset All Setup, Reset PowerOn, Factory Reset

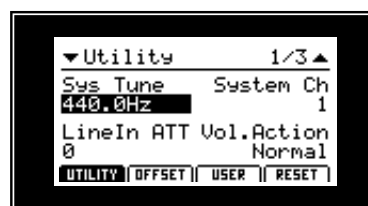
システムメニューへ入る

[SYSTEM] ボタンを押します。

[SYSTEM] ボタンが点灯し、システム設定画面が表示されます。

パラメーターのカテゴリーを選ぶ

システムメニューへ入った後：

[F1][F2][F3][F4] ボタンを押して、エディットしたい目的のカテゴリーを選びます。

ボタン	カテゴリー
F1	Utility
F2	Offset
F3	User
F4	Reset

パラメーターを調整する

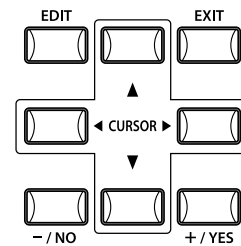
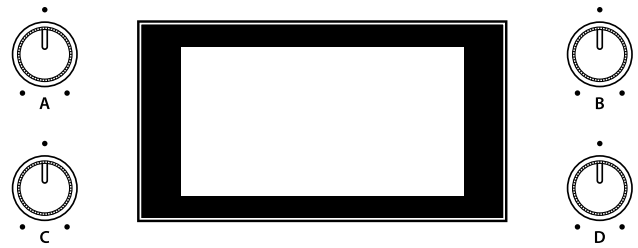
ディスプレイ横の４つのコントロールノブを回して、表示されたパラメーターを調整します。

パラメーターは、[CURSOR] ボタンでカーソルを移動させ、[-/NO][+/YES] ボタンで、値を調整することもできます。

※[CURSOR▲][CURSOR▼]ボタンを押していくと、システムメニューの他のページを選ぶことができます。

[EXIT] ボタンを押していくと、通常の演奏モードの画面へ戻ります。

※調整したシステムパラメーターは、演奏モードの画面に戻る時、自動的に保存されます。

※内部メモリーへの書き込み中は、絶対に電源を切らないでください。保存したデータが消えてしまいます。

1 Utility（ユーティリティ）

1. System Tuning（システムチューニング）

value: 427.0 - 453.0 Hz

MP10の内部音源の全体のチューニングを0.5Hz単位で調整します。

※初期値は、A=440Hzです。

2. System Channel（システムチャンネル）

value: 1ch - 16ch

受信モード（詳細は53 ページの「3 Receive（受信/システムパラメーター）」を参照してください。）がPanelに設定されているときにMIDIメッセージを受信するシステムMIDIチャンネルを設定します。

※初期値は、1chです。

3. Line-in Level（ラインインレベル）

value: 0 - 127

[LINE IN] 端子の入力レベルを調整します。

外部機器の出力レベルが高すぎる場合は、このパラメーターを下げます。また低すぎる場合は、このパラメーターを上げます。

4. Volume Fader Action（ボリュームフェーダーアクション）

Normal/Catch

各セクションのボリュームフェーダーがどのように聞くかを設定します。

値	説明
Normal	フェーダーを動かすと、即ボリュームが変わります。
Catch	保存されたボリューム値とフェーダーの位置が一致するまでボリュームが変わりません。"Catch（キャッチ）"を選ぶと、予期しない音量の不連続な変化を防ぐことができます。

※初期値は、Normal（ノーマル）です。

5. LED Brightness（LEDブライトネス）

Low/High

パネルのLEDの明るさを調整します。

値	説明
Low	ステージ等の照明が暗い場所に適しています。
High	周囲が明るい場合に適しています。

※初期値は、High（ハイ）です。

6. Out Mode（アウトプットモード）

Stereo/2xMono

MP10のL、R端子のラインアウト出力をステレオ出力にするか、2系統のモノラル出力にするかを設定できます。

例えば、XLR端子を使って一方をモニター用に、他方をミキサー用に、2系統でモノラル出力することができます。

値	説明
Stereo	ラインアウト端子からステレオ出力します。
2xMono	ラインアウト端子を2系統のモノラル出力にします。

※初期値は、Stereo（ステレオ）です。

※"2xMono"を選んでいる場合、オートパンなどのステレオエフェクトは効きません。

7. LCD Reverse（LCDリバース）

On/Off

ディスプレイ表示を白黒反転させます。状況に応じてディスプレイの見え方を変えることができます。

※初期値はOffに設定されています。

8. LCD Contrast（LCDコントラスト）

value: 1 - 10

ディスプレイのコントラストを調整します。値を大きくすると、表示の明暗がはっきりします。

9. Foot Switch Mode（フットスイッチモード）

Normal/Setup+

フットスイッチを、セットアップの切り換えに使うことができます。

値	説明
Normal	エディットメニューで定義されたフットスイッチの機能を使います。
Setup+	次のセットアップメモリーに切り替えます。

※初期値は、Normal（ノーマル）です。

10. Eff. SW Mode（エフェクトスイッチモード）

Preset/Temp.

音色を切り替えたとき、[EFX][REVERB][AMP]ボタンのON/OFF状態を変更するかどうかを設定します。

値	説明
Preset	音色を切り換えたときON/OFF状態を変更します。
Temp.	音色を切り替えたときON/OFF状態を切り換えません。

※初期値は、Preset（プリセット）です。

11. Lock Mode（ロックモード）

Panel Lock/Wheel Lock/FSW Lock/EXP Lock

[PANEL LOCK]ボタンを押したとき、どのパネル操作をロックするかを設定します。

値	説明
Panel Lock	鍵盤、各ホイール、ペダルと[PANEL LOCK]ボタン以外のコントロールをロックします。
Wheel Lock	ピッチベンドとモジュレーションホイールをロックします。
FSW Lock	アサイナブルフットスイッチ（FSW）をロックします。
EXP Lock	エクスプレッションペダル（EXP）をロックします。

2 Offset (オフセット)

1. EQ Offset On/Off (EQオフセットオンオフ)

On/Off

EQオフセット機能のOn/Offを設定します。

値	説明
On	EQオフセットをOnにします。
Off	EQオフセットをOffにします。

※初期値は、Offです。

2. EQ Offset Lo/Mid/Hi (ロー/ミッド/ハイ)

value: –9dB -+9dB

EQオフセットの各帯域の補正値を設定します。

パラメーター	説明
Lo	低音域の補正値を設定します。
Mid	中音域の補正値を設定します。
Hi	高音域の補正値を設定します。

※EQオフセット値は、EQセクションの設定値に加算されます。合計された値は最大値は+9、最小値-9でリミットがかかります。

3. Reverb Offset (リバーブオフセット)

value: 0(Off) - 100%

システム全体のリバーブの補正値を設定します。

※初期値は100%です。

3 User (ユーザー)

ユーザータッチカーブや、ユーザー音律を作成します。

ユーザータッチカーブ作成

[A] ノブで、User1/User2 から作成するタッチカーブを選択し、[REC ●] ボタンを押します。

ユーザータッチカーブ作成画面が表示され、作成が開始されます。

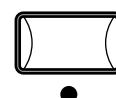
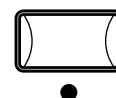
適当な鍵盤を弱打から強打まで弾いてください。

※"Press [REC] When finished"メッセージが画面に表示されたら入力を終えてください。

[REC ●] ボタンを押すと、鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成を開始します。

※"Analysis Completed!!"メッセージが画面に表示されたら作成終了です。演奏して、新しいタッチカーブで試奏してください。

新しいカーブを保存したい場合は、[REC ●] ボタンを押してください。

[F3] (CANCEL) ボタンを押すと、作成されたタッチカーブを破棄して前の画面へ戻ります。

ユーザー音律作成

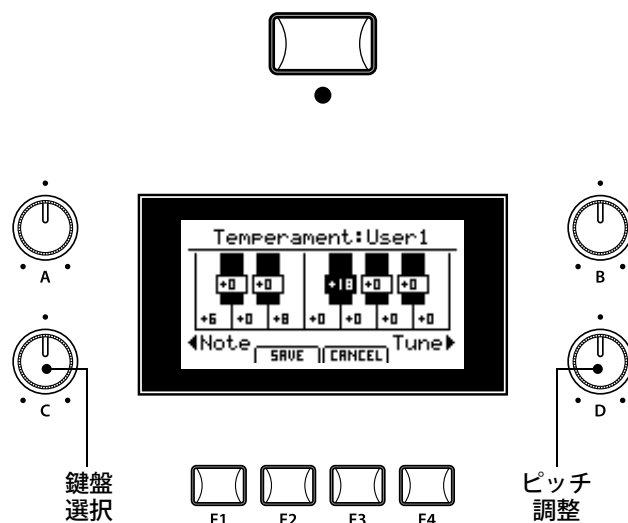
[B] ノブで、User 1 / User 2 から作成する音律を選択し、[REC ●] ボタンを押します。

ユーザー音律作成画面が表示されます。

[C] ノブで、調整する鍵を選び、[D] ノブでピッチを調整します。

※それぞれの鍵のピッチは、-50〜+50セントで調整できます。半音=100セントです。

新しい音律を保存したい場合は、[F2]（SAVE）ボタンを押してください。

[F3]（CANCEL）ボタンを押すと、作成された音律を破棄して前の画面へ戻ります。

4 Reset（リセット）

各音色、セットアップなどの設定を工場出荷時の設定へ戻します。
[CURSOR]ボタンを使って目的の機能を選び、[+/YES]ボタンで実行してください。

1. Reset One Sound（リセットワンサウンド）

現在選択中の音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

この機能を実行するためにシステムメニューに入る前に、目的の音色を選択しておいてください。

2. Reset One Setup（リセットワンセットアップ）

一つのセットアップメモリーを工場出荷時の状態に戻します。

SETUP（セットアップ）セクションの[BANK]ボタンと[1]〜[6]ボタンを使ってリセットするセットアップメモリーを選択してください。

3. Reset System（リセットシステム）

MIDI設定のTransmit（送信）、Receive（受信）、MMC（エムエムシー）を含む、全てのシステムパラメーターを工場出荷時の状態に戻します。

4. Reset Recorder（リセットレコーダー）

MIDIレコーダーの内部ソングメモリーを全て消去します。

5. Reset All Sound（リセットオールサウンド）

全ての音色の設定を工場出荷時の状態に戻します。

6. Reset All Setup（リセットオールセットアップ）

全てのセットアップメモリーを工場出荷時の状態に戻します。

7. Reset PowerOn（リセットパワーオン）

電源オン時の設定を工場出荷時の状態に戻します。

8. Factory Reset（ファクトリーリセット）

全ての音色、セットアップ、システム、MIDIレコーダーの内部メモリーを工場出荷時の状態に戻します。

内蔵音色一覧

PIANOセクション

Concert	
1	Concert Grand
2	Studio Grand
3	Mellow Grand

Pop	
1	Pop Piano
2	Bright Pop Piano
3	Mellow Pop Piano

Jazz	
1	Jazz Grand 1
2	Jazz Grand 2
3	Standard Grand

E.PIANOセクション

Tine	
1	Tine EP 1
2	Tine EP 2
3	Tine EP 3

Reed	
1	Reed EP 1
2	Reed EP 2
3	Reed EP 3

Others	
1	Modern EP
2	Clavi 1
3	Clavi 2

SUBセクション

Strings	
1	Hybrid Strings
2	Hybrid Ensemble
3	Beautiful Str.

Pad	
1	Pad 1
2	Pad 2
3	String Pad

Others	
1	Vibraphone
2	Harpsichord
3	Choir Ooh/Ahh

リズムパターン一覧

16 Swing	
1	Funk Shuffle 1
2	Funk Shuffle 2
3	Hip Hop 1
4	Hip Hop 2
5	Hip Hop 3
6	Hip Hop 4
7	16 Shuffle 1
8	16 Shuffle 2
9	16 Shuffle 3
16 Funk	
10	Funky Beat 1
11	Funky Beat 2
12	Funky Beat 3
13	Funk 1
14	Funk 2
15	Funk 3
16 Straight	
16	Jazz Funk
17	16 Beat 1
18	16 Beat 2
19	16 Beat 3
20	16 Beat 4
21	Ride Beat 4
22	Rim Beat
23	Roll Beat
24	Light Ride 1
25	Dixie Rock
16 Latin	
26	Surdo Samba
27	Latin Groove
28	Light Samba
29	Songo
30	Samba
31	Merenge
16 Dance	
32	Funky Beat 4
33	16 Beat 5
34	Disco 1
35	Disco 2
36	Techno 1
37	Techno 2
38	Techno 3
39	Heavy Techno

16 Ballad	
40	Ballad 1
41	Ballad 2
42	Ballad 3
43	Ballad 4
44	Ballad 5
45	Light Ride 2
46	Electro Pop 1
47	Electro Pop 2
48	16 Shuffle 4
8 Ballad	
49	Slow Jam
50	50's Triplet
51	R&B Triplet
8 Straight	
52	8 Beat 1
53	8 Beat 2
54	Smooth Beat
55	Pop 1
56	Pop 2
57	Ride Beat 1
58	Ride Beat 2
59	Ride Beat 3
60	Slip Beat
8 Rock	
61	Jazz Rock
62	8 Beat 3
63	Rock Beat 1
64	Rock Beat 2
65	Rock Beat 3
66	Rock Beat 4
67	Blues/Rock
68	Heavy Beat
69	Hard Rock
70	Surf Rock
71	R&B
8 Swing	
72	Motown 1
73	Fast Shuffle
74	Motown 2
75	Country 2 Beat

Triplet	
76	Triplet Rock 1
77	Triplet Rock 2
78	Bembe
79	Rock Shuffle 1
80	Rock Shuffle 2
81	Boogie
82	Triplet 1
83	Triplet 2
84	Reggae
85	Gospel Ballad
86	Waltz
Jazz	
87	H.H. Swing
88	Ride Swing
89	Fast 4 Beat
90	Afro Cuban
91	Jazz Waltz 1
92	Jazz Waltz 2
93	5/4 Swing
8 Latin	
94	H.H. Bossa
95	Ride Bossa
96	Beguine
97	Mambo
98	Cha Cha
99	Tango
100	Habanera

MP10仕様

Kawai MP10 Professional Stage Piano

<table>
<tr><td rowspan="2">鍵盤</td><td colspan="3">88 鍵 木製鍵盤 RM3グランド</td></tr>
<tr><td colspan="3">アイボリータッチ、レットオフフィール</td></tr>
<tr><td>音色</td><td colspan="3">27 音色</td></tr>
<tr><td>同時発音数</td><td colspan="3">最大 192 音（音色により異なる）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">セクション</td><td colspan="2">内部:</td><td>PIANO, E.PIANO, SUB</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部:</td><td>MIDI</td></tr>
<tr><td rowspan="4">効果</td><td colspan="2">Reverb（リバーブ）</td><td>7 タイプ</td></tr>
<tr><td colspan="2">EFX（エフェクト）</td><td>25 タイプ</td></tr>
<tr><td colspan="2">Amp. Sim（アンプ）</td><td>6 タイプ（E.PIANO セクション）</td></tr>
<tr><td colspan="2">EQ（イコライザー）</td><td>3 バンドEQ 中域周波数調整付</td></tr>
<tr><td>内部レコーダー</td><td colspan="3">10ソング（最大約 90,000音）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メトロノーム</td><td colspan="2">クリック</td><td>1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8</td></tr>
<tr><td colspan="2">リズム</td><td>100 種類</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ユーザーメモリー</td><td colspan="2">サウンド</td><td>27</td></tr>
<tr><td colspan="2">SETUP</td><td>156（26 バンク×6）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">USB ファンクション</td><td rowspan="2">Play Audio:</td><td>MP3</td><td>32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo, Bitrate: 8-320 kbit/s (fixed & variable)</td></tr>
<tr><td>WAV</td><td>32 kHz/44.1 kHz/48 kHz, Mono/Stereo</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Record Audio:</td><td>MP3</td><td>44.1 kHz, 16 bit, Stereo, 192 kbit/s (fixed)</td></tr>
<tr><td>WAV</td><td>44.1 kHz, 16 bit, Stereo, 1,411 kbit/s (uncompressed)</td></tr>
<tr><td colspan="2">Load/Save:</td><td>One Sound, One Setup, SMF, All Sound, All Setup, All Backup</td></tr>
<tr><td>外部記憶</td><td colspan="3">USBメモリー, USBフロッピーディスク</td></tr>
<tr><td>ディスプレイ</td><td colspan="3">128×64 dots LCD（バックライト付）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">外部端子</td><td colspan="2" rowspan="3">Output</td><td>LINE OUT（L / MONO, R）：標準</td></tr>
<tr><td>LINE OUT（L, R）：XLR [グランドリフトSW付]</td></tr>
<tr><td>ヘッドホン</td></tr>
<tr><td colspan="2">Input</td><td>LINE IN（L / MONO, R）：標準</td></tr>
<tr><td colspan="2">MIDI</td><td>MIDI（IN / OUT / THRU）</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB</td><td>USB to HOST, USB to DEVICE</td></tr>
<tr><td colspan="2">Foot Control</td><td>DAMPER / SOFT、EXP、FSW</td></tr>
<tr><td colspan="2">Power</td><td>AC インレット</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="3">25 W</td></tr>
<tr><td>寸法</td><td colspan="3">W138 × D43 × H18.5（cm）</td></tr>
<tr><td>重量</td><td colspan="3">31.8 kg</td></tr>
<tr><td>同梱品</td><td colspan="3">ダンパー/ソフトペダル（F-20）、譜面台、電源コード、取扱説明書</td></tr>
</table>

※仕様は告知なしに変更される場合があります。

MIDI Implementation

1 Recognised Data

1. Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
8nH	kkH	vvH
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change Bank Select (MSB)

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	00H	mmH
BnH	20H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm = Bank Number MSB :00H-7fH (0 ~ 127)
ll = BankNumber LSB :00H-7fH (0 ~ 127)

Modulation

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	01H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv = Modulation depth :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 00H

Data Entry

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	06H	mmH
BnH	26H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Value indicated in RPN/NRPN :00H - 7fH(0 ~ 127)
*see RPN/NRPN chapter

Volume

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	07H	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
vv=Volume :00H - 7fH(0 ~ 127) Default = 7fH

Panpot

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	0aH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 - ch.16)
vv=Panpot :00H - 40H - 7fH(left ~center~right) Default = 40H(center)

1. Channel Voice Message (cont.)

Expression

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	0bH	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 - ch.16)	
vv=Expression		:00H - 7fH(0 - 127)	Default = 7fH

Damper Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	40H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63=OFF, 64 - 127=ON			

Sostenuto Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	42H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Soft Pedal

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	43H	vvH	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv=Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	Default = 00H
0 - 63 =OFF, 64 - 127=ON			

Sound controllers #1-9

Status	2nd Byte	3rd Byte		
BnH	46H	vvH	Sustain Level	
BnH	47H	vvH	Resonance	
BnH	48H	vvH	Release time	
BnH	49H	vvH	Attack time	
BnH	4aH	vvH	Cutoff	
BnH	4bH	vvH	Decay time	
BnH	4cH	vvH	Vibrato Rate	
BnH	4dH	vvH	Vibrato Depth	
BnH	4eH	vvH	Vibrato Delay	
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)		
vv=Control Value		:00H - 7fH(-64 ~ 0 ~ +63)		Default = 40H

Effect Control

Status	2nd Byte	3rd Byte	
BnH	5bH	vvH	Reverb depth
n=MIDI channel number		:0H-fH(ch.1 ~ ch.16)	
vv = Control Value		:00H - 7fH(0 ~ 127)	

1. Channel Voice Message (cont.)

NRPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	63H	mmH
BnH	62H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=MSB of the NRPN parameter number
ll=LSB of the NRPN parameter number

NRPN numbers implemented in MP8II are as follows
NRPN # Data

MSB	LSB	MSB	Function & Range		Default
01H	08H	mmH	Vibrato Rate mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	09H	mmH	Vibrato Depth mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	0aH	mmH	Vibrato Delay mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	20H	mmH	Cutoff mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	21H	mmH	Resonance mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	63H	mmH	Attack time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	64H	mmH	Decay time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H
01H	66H	mmH	Release time mm	:00H - 7FH(-64 ~ 0 ~ +63)	Default = 40H

* Ignoring the LSB of data Entry
* It is not affected in case of modifying cutoff if tone does not use the DCF.

RPN MSB/LSB

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	65H	mmH
BnH	64H	llH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

mm=MSB of the RPN parameter number
ll=LSB of the RPN parameter number

RPN number implemented in MP8II are the followings
RPN # Data

MSB	LSB	MSB	LSB	Function & Range
00H	00H	mmH	llH	Pitch bend sensitivity
		mm :00H-0cH (0~12 [half tone]),ll:00H		Default=02H
00H	01H	mmH	llH	Master fine tuning
		mm,ll :20 00H - 40 00H - 60 00H (-8192x50/8192 ~ 0 ~ +8192x50/8192 [cent])		
7fH	7fH	--	--	RPN NULL

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH(0 ~- 127) Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

付録

2. Channel Mode Message

All Sound OFF

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	78H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

3. System Realtime Message

Status	
FEH	Active sensing

2 Transmitted Data

1. Channel Voice Message

Note off

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)

Note on

Status	2nd Byte	3rd Byte
9nH	kkH	vvH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
kk=Note Number :00H - 7fH(0 ~ 127)
vv=Velocity :00H - 7fH(0 ~ 127)

Control Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	ccH	vvH

* Sending by Assignable Control Knobs

Program Change

Status	2nd Byte
CnH	ppH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
pp=Program number :00H - 7fH(0 ~- 127) Default = 00H

Pitch Bend Change

Status	2nd Byte	3rd Byte
EnH	llH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm,ll=Pitch bend value :00 00-7f 7fH(-8192~0~+8192) Default = 40 00H

2. Channel Mode Message

Reset All Controller

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	79H	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

All Note Off

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7bH	00H

n = MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
*Sending by [PANIC] function

MONO

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7eH	mmH

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)
mm=mono number :01H(M=1)

POLY

Status	2nd Byte	3rd Byte
BnH	7fH	00H

n=MIDI channel number :0H-fH(ch.1 ~ ch.16)

3. System Realtime Message

Status

FAH	Start
FBH	Contine
FCH	Stop

*Sending by [TRANSPORT] function

3 Exclusive Data

MMC commands

*Sending by [TRANSPORT] function

*Transmit only

F0 7F <device ID> 06 <command> F7

device ID: 00H - 7FH

command:
01:STOP, 02:PLAY, 03:DEFERRED PLAY, 04:FAST FORWARD, 05:REWIND, 06:RECORD STROBE, 07:RECORD EXIT,
08:RECORD PAUSE, 09:PAUSE, 0A:EJECT, 0B:CHASE, 0C:COMMAND ERROR RESET, 0D:MMC RESET

4 SOUND/SETUP Program/Bank

MIDIパラメーターの受信モード（53 ページの「3 Receive（受信/システムパラメーター）」参照）が[Panel]に設定されているとき、MP10はシステムチャンネルでMIDIデータを受信します。

※MP10はシステムチャンネルにて、プログラムナンバーとバンクナンバーMSBの0または1を受信すると、セットアップモードのON/OFFを切り換え、対応したセットアップを呼び出します。また、受信モードが"Section"に設定されているときは、内部音色セクションはそれぞれ独立したチャンネルでMIDI受信します。

Panel Mode:

SETUP Program Number

BANK#MSB	1:	SETUP mode ON
BANK#LSB	0-25:	BANK A-Z
PROGRAM	0-5:	Setup Variation 1-6

SOUND Program Number

BANK#MSB	0:	SETUP mode OFF
BANK#LSB	0:	PIANO Section
	1:	E.PIANO Section
	2:	SUB Section
PROGRAM	0-8:	Sound variation 1-9

※一つの内部音色セクションのみアクティブになります。

Section Mode:

BANK#MSB	(ignored)	Multi section
BANK#LSB	(ignored)	
PROGRAM	0-8:	Sound variation 1-9

※それぞれのセクションの受信チャンネルで受信します。
※セットアップモードはON/OFFしません。

5 Control Change Number (CC#) Table

Control Number		Control Function
Decimal	Hex	
0	0	Bank Select (MSB)
1	1	Modulation Wheel or lever
2	2	Breath Controller
3	3	(undefined)
4	4	Foot Controller
5	5	Portament Time
6	6	Data Entry (MSB)
7	7	Channel Volume
8	8	Balance
9	9	(undefined)
10	A	Panpot
11	B	Expression Controller
12	C	Effect Controller1
13	D	Effect Controller2
14	E	(undefined)
15	F	(undefined)
16-19	10-13	General Purpose Controller1~4
20-31	14-1F	(undefined)
32	20	Bank Select (LSB)
33-63	21-3F	(LSB of Control Number 1-32)
64	40	Hold1 (Damper Pedal or Sustain)
65	41	Poratament On/Off
66	42	Sostenuto
67	43	Soft Pedal
68	44	Legato Footswitch
69	45	Hold2 (freeze etc)
70	46	Sound Controller1 (Sound Variation)
71	47	Sound Controller2 (Filter Resonance/Harmonic Intensity)
72	48	Sound Controller3 (Release Time)
73	49	Sound Controller4 (Attack Time)
74	4A	Sound Controller5 (Brightness/Cutoff)
75	4B	Sound Controller6 (Decay TIme)
76	4C	Sound Controller7 (Vibrato Rate)
77	4D	Sound Controller8 (Vibrato Depth)
78	4E	Sound Controller9 (Vibrato Delay)
79	4F	Sound Controller10
80-83	50-53	General Purpose Controller5~8
84	54	Portament Control
85-90	55-5A	(undefined)
91	5B	Effect1 Depth (Reverb Send Level)
92	5C	Effect2 Depth
93	5D	Effect3 Depth (Chorus Send Level)
94	5E	Effect4 Depth
95	5F	Effect5 Depth
96	60	Data Increment
97	61	Data Decrement
98	62	Non Registered Parameter Number (LSB)
99	63	Non Registered Parameter Number (MSB)
100	64	Registered Parameter Number (LSB)
101	65	Registered Parameter Number (MSB)
102-119	66-77	(undefined/reserved)
120-127	78-7F	Channel Mode Message

Model : Kawai MP10 Professional Stage Piano

MIDIインプリメンテーション・チャート

Date : August 2010
Version : 1.0

ファンクション		送信	受信		備考
			Panel	Section	
ベーシック チャンネル	電源ON時	1-16	1-16	1-16	
	設定可能	1-16	1-16	1-16	
モード	電源ON時	3	3	3	
	メッセージ	3, 4 (M=1)	×	×	
	代用	*****			
ノート ナンバー:		0-127	0-127	0-127	
	音域	*****			
ベロシティ	ノート・オン	○ 1-127	○ 1-127	○ 1-127	
	ノート・オフ	×	×	×	
アフタータッチ	キー別	×	×	×	
	チャンネル別	○ (※1)	×	×	
ピッチ・ベンド		○	○	○	
コントロール チェンジ	0, 32	○	○	×	Bank Select
	1	○	○ (※2, 3)	○	Modulation
	6, 38	○	×	○	Data Entry
	7	○	×	○	Volume
	10	○	×	○	Panpot
	11	○	○ (※2, 3)	○	Expression (EXP)
	64	○	○ (※2)	○	Hold1 (Damper)
	66	○	○ (※2, 3)	○	Sostenuto (FootSW)
	67	○	○	○	Soft
	70, 71	○	×	○	Sustain, Resonance
	72, 73, 74, 75	○	×	○	RLS, ATK, CTF, DCY
	76, 77, 78	○	×	○	Vibrato (Rate, Depth, Delay)
	91	○	×	○	Reverb Depth
	98, 99	×	×	○	NRPN LSB/MSB
	100, 101	×	×	○	RPN LSB/MSB
	0-119	○ (※1)	×	×	
プログラム チェンジ		○	○	○	
	設定可能範囲	*****	0-127	0-127	
システム・エクスクルーシブ		○	×	×	
コモン	ソング・ポジション	×	×	×	
	ソング・セレクト	×	×	×	
	チューン	×	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	×	
	コマンド	○	×	×	
その他	オールサウンドオフ	×	○	○	
	リセットオールコントローラー	○	○	○	
	ローカルON/OFF	×	×	×	
	オール・ノート・オフ	○	○ (123-127)	○ (123-127)	
	アクティブ・センシング	×	○	○	
	リセット	×	×	×	
備考		※1 : モジュレーションホイール、EXP、FSW端子またはA〜Dノブに割り当てられます。 ※2 : エディットメニューで各セクションに効くか効かないかを設定します。 ※3 : エディットメニューでMOD/EXP/FSWの機能を割り当てます。 (初期値は#01.Mod/#11Exp/#66.Sosteです。)			

モード1 : オムニ・オン、ポリ　モード2 : オムニ・オン、モノ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ　モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : あり
× : なし

索引

U

V

あ

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業部

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00～12：00 / 13：00～17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jpの「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

816889
KMSZ-0040-R100
Printed in Indonesia

2010年10月発行